

カンボジア国
「中小企業育成・地方環境インフラ開発
ツーステップローン事業」
の発掘と形成に係る予備調査

報告書

2008年10月

社団法人海外コンサルティング企業協会
株式会社コーエイ総合研究所

カンボジア国
「中小企業育成・地方環境インフラ開発ツーステップローン事業」
の発掘と形成に係る予備調査
報告書

目次

カンボジア地図

第1章 予備調査の概要

1.1 調査の背景	1
1.2 調査の目的	1
1.3 調査の実施内容	1
1.4 実施要領とスケジュール	1
1.5 調査担当者	2

第2章 中小企業セクター

2.1 概要	3
2.1.1 定義	3
2.1.2 SME セクターの近年の成長過程	4
2.1.3 カンボジアの SMEs の特徴	5
2.2 政府の SMEs 支援の方針	6
2.2.1 SMEs 支援策	6
2.2.2 投資奨励策	7
2.3 ドナー支援	8
2.3.1 概要	8
2.3.2 日本の支援概要	8
2.3.3 SMEs 向け金融支援	9
2.4 訪問企業(SMEs)の概要	9
2.4.1 食品・飲料(タバコ含む)セクター	9
2.4.2 非金属加工(石油・石炭製品を除く)セクター	12
2.4.3 金属加工・組立セクター	13
2.5 製造業関連 SMEs セクターの資金需要	14

第3章 公益セクターにおける中小企業

3.1 上水セクター	15
3.1.1 概観	15
3.1.2 政府の方針	17

3.1.3	ドナー支援の状況	17
3.1.4	上水セクターにおける長期資金の需要	19
3.2	電力セクター	20
3.2.1	概観	20
3.2.2	政府の方針	20
3.2.3	民間電力事業者 (REEs) の動向	21
3.2.4	電化セクターにおける資金需要	23
第 4 章 金融セクター		
4.1	現在の金融セクターの概観	24
4.1.1	背景	24
4.1.2	金融構造	24
4.1.3	政府の方針	24
4.2	資金フローと金融政策	25
4.2.1	資金フローの推移	25
4.2.2	流通通貨	27
4.2.3	金融政策	27
4.3	銀行セクター	27
4.3.1	銀行の資本構成	27
4.3.2	自己資本及び借入金 (Capital & Liability)	28
4.3.3	融資状況及びその金利水準	29
4.3.4	収益性と NPL	29
4.4	主要銀行の概要	29
4.4.1	Canadia 銀行	30
4.4.2	Acleda 銀行	30
4.4.3	ANZ Royal 銀行	31
4.4.4	農村地域開発銀行	31
4.5	マイクロファイナンス (MF) セクター	32
4.5.1	概況	32
4.5.2	個別 MFI、Amret の概況	32
4.6	ドナーの支援状況	33
4.6.1	IFC による資金支援	33
4.6.2	ドイツ復興開発銀行 (KfW) による資金支援	34
4.6.3	ADB の農業セクター零細企業向け融資	34
4.6.4	SME への貸付現状と資金需要に関する IFC 調査	34
第 5 章 TSL の必要性と提案される枠組み		
5.1	TSL の必要性	36
5.2	対象となる SMEs とその産業セクター	36

5.3	資金需要の動向	36
5.4	金融サイドの動向	37
5.5	提案される TSL(含む TA)の概要	37
5.5.1	TSL のスキーム	37
5.5.2	Sub-loan の対象プロジェクト、企業.....	37
5.5.3	TSL 総額	37
5.5.4	参加金融銀行	37
5.5.5	一件当たりの Sub-loan 金額	38
5.5.6	適用条件(期間、金利)	38
5.5.7	必要とされる TA.....	38
5.6	次のステップ	38

Appendix1: 金融セクターにかかる付表 A-1 ~ A-8

Appendix2: PPT スライド ”Outline of Proposed Two-Step Loan (TSL)”

List of Table and Figure

第 1 章

表 1-1 : 現地調査スケジュール

第 2 章

表 2-1 : SMEs 定義

表 2-2 : Small Enterprise 1999-2006

表 2-3 : Small Industrial Establishments, 2006

表 2-4 : 投資優遇措置付与のための最低投資基準

表 2-5 : List of Visited SMEs

表 2-6 : Trial Calculation for Financial Demand

図 2-1 : カンボジアの製造業における企業階層構造 (2001)

第 3 章

表 3-1 : Access Ratio to Safe Water

表 3-2 : 過去の主な上水道セクターにおける政府開発援助

第 4 章

表 4-1 : Banks/ Comparison of Total Assets (2005-07)

表 4-2 : MFIs/ Comparison of Total Assets (2005-07)

表 4-3 : Banks/ Share of Paid-up Capital (2007)

図 4-1 : NBC による金融機関別認可基準

List of Abbreviation

ABC	: Association of Banks in Cambodia / カンボジア銀行協会
ADB	: Asian Development Bank / アジア開発銀行
AFD	: Agency of France for Development / フランス開発庁
CDC	: The Council for the Development of Cambodia / カンボジア開発委員会
CIB	: The Cambodia Investment Board / カンボジア投資庁
CPB	: Cambodian Public Bank
DPWS	: Department of Potable Water Supply (MIME) / 飲用水局 (MIME)
DIME	: District Office of MIME / MIME 地方事務所
EAC	: Electricity Authority of Cambodia / カンボジア電力庁
EdC	: Electricité du Cambodge / カンボジア電力公社
EU	: European Union / 欧州連合
FDI	: Foreign Direct Investment / 海外直接投資
FMO	: Netherlands Development Finance Company / オランダ開発金融会社
GDP	: Gross Domestic Products / 国内総生産
GTZ	: Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit / ドイツ技術協力公社
IDA	: International Development Association / 国際開発協会
IFC	: International Finance Corporation / 国際開発公社
IMF	: International Monetary Fund / 国際通貨基金
IPPs	: Independent Power Producers / 独立発電事業者
JBIC	: Japan Bank for International Cooperation / 国際協力銀行
JICA	: Japan International Cooperation Agency / 国際協力機構
MEF	: Ministry of Economy & Finance / 経済財政省
MF	: Microfinance / マイクロファイナンス
MFIs	: Microfinance Institutions / マイクロファイナンス機関
MDGs	: Millennium Development Goals / ミレニアム開発目標
MIME	: Ministry of Industry, Mining & Energy / 鉱工業エネルギー省
MAFF	: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries / 農林水産省
MIREP	: Small-scale Piped Water System Project (in French)
MoC	: Ministry of Commerce / 商業省
MoI	: Ministry of Interior / 内務省
MoJ	: Ministry of Justice / 法務省
MRD	: Ministry of Rural Development / 地方開発省
MWRM	: Ministry of Water Resources & Meterology / 水資源省
NBC	: National Bank of Cambodia / カンボジア中央銀行
NPL	: Non-Performing Loan / 不良債権
NSDP	: National Strategic Development Plan / 国家戦略開発計画
ODA	: Official Development Assistance / 政府開発援助

PPP	: Public-Private-Partnership / 官民パートナーシップ
PPWSA	: Phnom Penh Water Supply Authority / プノンペン水道開発公社
RDB	: Rural Development Bank / 農村地域開発銀行
REE	: Rural Electricity Enterprise / 地方電気事業者
REF	: Rural Electrification Fund / 地方電化基金
SMEs	: Small and Medium Enterprises / 中小企業
SRWSA	: Siem Reap Water Supply Authority / シエムリアップ水道公社
TA	: Technical Assistance / 技術協力
TSL	: Two-Step Loan / 円借款ツーステップローン
UCB	: Union Commercial Bank
UNIDO	: United Nations Industrial Development Organization / 国連工業開発機関
USAID	: United States Agency for International Development / 米国際開発庁
WB	: World Bank / 世界銀行(世銀)

Map of Cambodia



第1章 予備調査の目的、実施内容

1.1 調査の背景

93年の初めての総選挙を経て成立したカンボジア新政府は多くのドナーからの幅広い支援を受けて市場経済体制の確立に努力してきた。その後97年に起こったアジア金融危機を契機に政府は金融改革にも注力し、その成果も徐々に現れ金融情勢が落ち着いてきたところ、ここ3年間の平均成長率は16%と好調を続けている。この成長を引っ張っているのは中小企業（Small and Medium Enterprises: SMEs）であり、今後もその牽引力となることが期待されている。政府としてもその支援に注力しているところであるが、特にSMEsから要望の強い設備の拡張・改修に必要となる長期ローン供与のための資金源の確保、支援スキームの開発に努力している。

1.2 調査の目的

カンボジアにおける中小企業の育成、及び地方上水整備及び地方電化を促進するため、円借款ツーステップローン（Two-Step Loan: TSL）を活用して政府を支援する方策を検討し、その枠組みを形成する。

1.3 調査の実施内容

TSLの供与を念頭に置き、1) SMEsの実態及びその資金需要、2) 金融事情及び主要金融機関の実情、3) カンボジアの実情に即したTSLの枠組み形成上の必要事項について調査する。

対象とするSMEsのセクターについては、1) 製造業、特に農業関連企業（たとえば精米所、輸出とうもろこしの乾燥設備）、2) 地方中規模村落における給水事業者、3) 地方村落における電力事業者（発電・配電）の3つの分野に注力して調査を進める。

1.4 実施要領とスケジュール

本予備調査に係る現地調査は、2008年8月13日から24日までの日程で実施した。

表 1-1 現地調査スケジュール

Date	Activities	
13 August	Wed	Departure from Tokyo - Arrival at Penom Penh
14 August	Thu	Rural Development Bank, World Bank/IFC, KfW
15 August	Fri	Canadia Bank, Association of Bank in Cambodia, National Bank of Cambodia
16 August	Sat	SMEs (Agricultural Machinery, Electricity Supply, Cray Brick, Water Supply, Ice Making, Fish Source)
17 August	Sun	Team Meeting
18 August	Mon	Acleda Bank, Ministry of Economy and Finance
19 August	Tue	Ministry of Industry, Mines and Energy, Amret (MFI), Cambodia Microfinance Association
20 August	Wed	ADB
21 August	Thu	SMEs (Maize, Rice Mill)
22 August	Fri	Embassy of Japan, ANZ Royal Bank, MIME (Department of Industrial Affairs), Electricity Authority of Cambodia, JICA
23 August	Sat	Team Meeting
24 August	Sun	Team Meeting
25 August	Mon	SMI Cambodia, Council for the Development of Cambodia
26 August	Tue	Departure from Phnom Penh
27 August	Wed	Arrival at Tokyo

現地では MEF、MIME、カンボジア中央銀行（National Bank of Cambodia: NBC）等諸官庁をはじめ主要金融機関及び 8 つの SMEs を訪問し、調査を実施した。なお、現地において JICA 専門家鈴木博氏（MEF へ出向中）から多大の協力を得たことを付記する。

1.5 調査担当者

- 団長 砂川 眞（金融・インフラ）（株）コーエイ総合研究所 特別顧問
- 団員 朝西英文（金融） （株）コーエイ総合研究所 副主任研究員
- 団員 大鶴舞子（中小企業） （株）コーエイ総合研究所 副主任研究員

第2章 中小企業セクター

2.1 概観

2.1.1 定義

カンボジアにおいても持続可能な経済発展と雇用の創出や貧困削減のために、SMEs セクターの成長が必須であるとの認識はきわめて高い。政府が 04 年に制定した経済戦略“Rectangular Strategy for Growth, Employment, Equity, and Efficiency”においてもこの認識が明示されており、同セクターの開発は最重要課題と位置づけられている。

政府は同戦略に基づき 04 年に SME Sub-Committee を設け、同 Sub-Committee が各省の管轄下にある各セクターの SMEs 発展のための具体的方針を設定しているが、その中で、SMEs について以下の通り定義している。すなわち、従業員数が 10 人以下を零細企業、11 人から 50 人以下を小企業、51 人から 100 人未満を中企業、100 人以上の企業を大企業としている。一方、資本金では、25 万ドル未満を小企業、25～50 万ドルを中企業、50 万ドル以上を大企業としている。

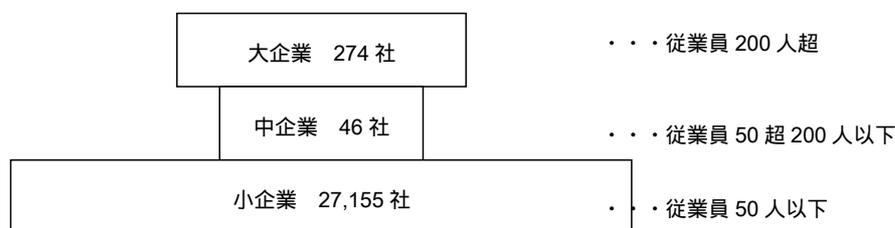
表 2-1 SMEs 定義

Statistical definition	Micro:	Less than	10	employees
	Small:	Between	11-50	employees
	Medium:	Between	51-100	employees
	Large:	Over	100	employees
Capital definition	Micro:	Less than	US\$	50,000
	Small:	Between	US\$	50,000 – 250,000
	Medium:	Between	US\$	250,000 – 500,000
	Large:	Over	US\$	500,000

Source : Small and Medium Enterprise Development Framework (2005)

また、従業員規模に基づいて大、中、小に分類した企業数は図 2-1 のとおりとなるが、企業数では小企業が圧倒的に多いことがわかる（ここでは大企業の従業員数が 100 人以上ではなく 200 人以上となっているが、これは鉱工業エネルギー省（Ministry of Industry, Mines and Energy: MIME）の同じ資料の発行年次が違うことによる）。

図 2-1 カンボジアの製造業における企業階層構造(2001)



Source: JICA(2004) カンボジア経済政策支援プロジェクト形成調査報告書

2.1.2 SMEs セクターの近年の成長過程

(1) SMEs の産業別動向

製造業における SMEs の企業数を産業別に見ると、中企業・大企業のほとんどが繊維・縫製セクターに集中しているのに対し（集中度約 80%）小企業では大半が食品・飲料（タバコを含む）セクターに集中しており（06 年 82%）主要産業が 2 分されていることが分かる（下表参照）。

表2-2 No. of Small Enterprise in the Manufacturing Sector, 1999-2006

	1999		2002		2003		2004		2005		2006		Growth rate 1999-2006 (%)
	No.	%											
Total Manufacturing	24,227	100	26,920	100	25,985	100	28,131	100	29,297	100	31,149	100	128.57%
Manufacture of food, beverage and tobacco	19,147	79.03	21,568	80.12	20,869	80.31	22,712	80.74	23,727	80.99	25,455	81.72	132.95
Textile and wearing apparel	396	1.63	1,417	5.26	1,406	5.41	1,672	5.94	1,665	5.68	1,689	5.42	426.52
Wood and wood products	814	3.36	13	0.05	13	0.05	16	0.06	2	0.01		0.00	0.00
Paper and paper products	23	0.09	15	0.06	21	0.08	25	0.09	31	0.11	33	0.11	143.48
Chemical, rubber and plastic products	67	0.28	275	1.02	96	0.37	120	0.43	153	0.52	159	0.51	237.31
Non metallic mineral products	777	3.21	757	2.81	681	2.62	680	2.42	719	2.45	797	2.56	102.57
Manufacture of basic metals	24	0.10		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00
Fabricated metal products	1,623	6.70	1,899	7.05	1,850	7.12	2,239	7.96	2,334	7.97	2,380	7.64	146.64
Other manufacturing industries	1,356	5.60	976	3.63	1,049	4.04	667	2.37	666	2.27	636	2.04	46.90

Source: Technical Report 2007 (Cambodia Statistical Yearbook 2001 and MIME, 2002-2006) を基に作成

産業別に過去数年に亘っての企業数の動向をみると、食品・飲料（タバコを含む）が絶対数として圧倒的に多いことには変わらないが、その数の増加は約 33%に止まっているのに対し、繊維・縫製セクターの企業数は 99 年から 06 年までの間に、4 倍以上に増加していることが注目される(表 2-2)。これは、これまで完全に外資主導であった同セクターにおいても、規模は小さくともようやく地場民間企業が育ち始めていることの証左ともいえよう。

この他、化学・ゴム・プラスチック製品セクター、金属加工セクターでは、事業所数は絶対数としては少ないものの、増加率はそれぞれ 2 倍、1.5 倍以上を示しており、新興企業の輩出がうかがわれる。

また、農林水産省 (Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries : MAFF)によると、農林水産セクターにおいても 26,664 社の SMEs が登録されており、農家が企業化していることが伺われる。

(2) 地域別動向

カンボジアにおける州別の SMEs 分布をみてみると、SMEs が集中している上位 5 州 (06 年) は、Kandal (19.4%)、Phnom Penh (16.5%)、Takeo (9.0%)、Svey Rieng (6.9%)、Kampong Cham

(6.6%)で、いずれもトンレサップ湖から流域のトンレサップ川沿いにある。このうち 05 年から大幅に集中度が増しているのは Phnom Penh に隣接する Kandal であり、Phnom Penh は逆に 7.3%低下している。

2.1.2 カンボジアの SMEs の特徴

カンボジアでの企業は数の上では SMEs が圧倒的であるが、そのほかの特徴を以下に列記する。

(1) SMEs の中でも零細企業が多くを占める

カンボジアの SMEs セクターは、従業員数が 10 人以下の零細企業が極めて多いのがその特徴である。(表 2-3)。06 年の SMEs 事業所数は 31,149 社、平均雇用者数は 2.8 人であることから、SMEs の多くが零細企業 (Microenterprise) であり、そのほとんどが家族経営であると考えられる。

表2-3 Small Industrial Establishments, 2006

ISIC	Sector	Number of Establishments				Labour		Licensed	
		Total	%	Women entrepreneurs	%	Total	Average Labor per Establishments	Total licensed	% of Licensed Est.
31	Manufacture of food, beverage and tobacco	25,455	82%	1,042	4.09%	58,512	2.30	12350	49%
311601	Rice milling	23,103	74%	700	3.03%	47,887	2.07	10922	47%
32	Textile and wearing apparel and leather industries	1,689	5%	573	33.93%	6,347	3.76	167	10%
33	Woods and wood product		0%						
34	Paper product, printing and publishing	33	0%	10	30.30%	351	10.64	25	76%
35	Chemicals	159	1%	31	19.50%	1,448	9.11	155	97%
36	Non-metallic mineral products except product of petroleum and coal	797	3%	120	15.06%	8,932	11.21	652	82%
37	Basic metal industries		0%						
38	Fabricated metal product, machinery and equipment	2,380	8%	127	5.34%	8,243	3.46	1613	68%
39	Other manufacturing industries	636	2%	99	15.57%	3,239	5.09	435	68%
	Total	31,149		2,702	8.67%	134,959	4.33	15397	49%

Source: Technical Report 2007: MIME (P8) を基に作成

(2) 多くが無認可で操業されている

零細企業では事業登録になんらのメリットもなく、反って税金の取立て等不利益をこうむるものとの意識が高い。このような背景から、管轄省庁に事業登録をせずにインフォーマルに操業を続ける企業の割合が高いことが第 2 の特徴といえよう。表 2-3 は産業別に認可を受けている割合を表示したものであるが、同表で見ると製造業における SMEs セクターの 8 割に上る食品・飲料 (タバコを含む) セクターでは、約半数が無認可であるとされている。また繊維・衣料 SMEs (1,689 社) は製造業中最もインフォーマル性が強く、認可 SMEs は 10%に過ぎない。農村での農業及び関連企業もほとんどが無認可 SMEs とされる。

(3) 生産性が低い

零細企業は一般にその設備装備率が低いことからその生産性は低いとされているが、カンボジアにおいては正にその通りとされている。政府の SME Development Framework (05 年) では、カンボジアの SMEs は生産性が低く、その向上が最優先課題と指摘されている。

一方労働生産性に関してもカンボジアは工業高校・大学等が少なく技術教育の水準が低いことから周辺国に比べても低い水準にあることは否めない。今後労働生産性の向上が急務となる。

2.2 政府の SMEs 支援の方針

2.2.1 SMEs 支援策

(1) 政策面の進展

政府は、04年に採択した成長と雇用、公正及び効率のための国家開発戦略”Rectangular Strategy”の中で、貧困削減と持続可能な経済発展を達成するために中小企業振興を第一に標榜している。この戦略では、中小企業振興のための施策として中長期資金の供給が第一に挙げられている。この他、起業支援や企業間連携の創出、生産性向上、品質向上、事業運営のための法制度整備等を重要事項として掲げている²。

また SME 政策や SME 支援プログラムの実施と関連機関のコーディネーションのため、04年に9つの関連省庁とカンボジア商工会議所をメンバーとする SME Sub-Committee が設立され、SMEs セクター支援の具体策を検討している。

The SME Sub-Committee が掲げるビジョンは、SMEs セクターに競争力を強化できるよう、ビジネス環境を整備することである。これにより、カンボジアの人々に多様な財・サービスを提供でき、質の高い雇用が創出されると期待している。フォーマルセクターへの移行を推進、SMEs のためのガバナンス改革、SMEs セクター支援のために必要となる公的・政府組織作りに取り組んでいる。以下、特に、法制度および資金調達における政府の取り組みについて、簡単に概要を示す。

(2) 法・規制の整備

カンボジアは企業登録にかかる費用が世界で最も高い国の一つといわれており、また企業登録のプロセスも複雑であり、このことが多くの SMEs が企業登録を回避し、インフォーマルな状態に留まる要因となっている。企業が低いコストで迅速に登録できるよう、商業省 (Ministry of Commerce: MoC) が中心となり新商業法案 (the new draft Law on Commercial Enterprises) を策定し、事業登録にかかるプロセスの改良を目指している。また、いくつも

² Rectangular Strategyで指摘される中小企業振興における13事項とは、1)中長期資金の供給、2)密貿易抑制、3)起業と事業展開に関する手続き簡素化、4)諸手続き簡素化による輸出入促進、5)一定期間の起業支援、6)大企業・中小企業間の関連創出、7)生産性向上と生産コスト削減、8)品質向上による地域・国際規格への適合、9)品質検査機能の強化、10)知的所有権の保護、11)職業訓練の促進、12)一村一品運動の振興、13)事業運営のための法制度整備である。

の関連省庁が各々の管轄する許認可及び検閲の制度を改善するため、one-stop shop for SMEs の立ち上げ、重複する許認可の合理化や申請手続きの簡素化、ガイドラインの策定に取り組んでいる。

ビジネス関連の法制度の未整備も大きな障害となっている。88年に制定されたカンボジア契約法は、商取引のための包括的な基盤を提供するには不十分との指摘もある。商事契約法(Commercial Contract Law)と商事裁判所設立法(Law on the Establishment of a Commercial Court)は、閣議の承認を得たところであり、破産法や民法は閣議の承認待ちである。これら民間セクターに影響する省毎の法制度について、法務省(Ministry of Justice: MoJ)は関連省庁と連携して法制度の重複をなくすとともに、必要な関連法規の制定及び司法における腐敗の一掃が目指されている。

(3) 金融へのアクセス強化

カンボジアのSMEsセクターでは、その大半が零細小企業であり、かつインフォーマル・セクターであることは前述のとおりである。SMEsの多くが担保となる資産を所有していないことが、民間銀行などフォーマル金融へのアクセスを悪くしている最大の要因である。この状況を打開するため、政府は、動産や無形資産を担保として扱えるようにするための担保法案(a Draft Law on Secured Transactions)を閣議に提案している。また、02年から07年には土地管理プロジェクト(Land and Administration Project)を実施し、土地所有法(the Land Law)を機能させるための土地登録を推進している。

また、現在に至るまで、カンボジアにはcredit information sharingシステムがなく、貸付リスクを高める一因となっていることも指摘される。カンボジア中央銀行(National Bank of Cambodia: NBC)とカンボジア銀行協会(Association of Banks in Cambodia: ABC)は協力してcredit information sharingシステムの開発について研究している。NBCとABCは法制度の整備と併せて、必要な情報処理システムを整備する計画である。

2.2.2 投資奨励策

一方、政府は、カンボジア開発評議会(The Council for the Development of Cambodia: CDC)、カンボジア投資委員会(The Cambodia Investment Board: CIB)を中心にして投資促進に取り組んでいる。03年に投資法が改正され、投資は会社単位ではなく事業(プロジェクト)単位で認可され、CDCに申請すればQualified Investment Project(QIP)として投資優遇措置を受けることができるようになっている。具体的な投資優遇措置は、主に免税または40%の加速償却と、資材・生産設備・原材料等の輸入関税の免税となっている。カンボジア政府の投資振興で興味深いのは、05年に制定された改正投資法施行に関する政令No.111において、投資優遇措置を受けるための最低投資(規模)基準が定められており(下表2-4)、政府が各セクターに期待する投資規模の水準を示している点である。

表 2-4 投資優遇措置付与のための最低投資基準

投資規模	対象
USD 300,000 以上	<ul style="list-style-type: none"> - 皮革製品その他の関連製品の製造 - 各種金属製品の製造 - 電気製品、家電製品ならびに事務製品の製造 - 玩具およびスポーツ用品の製造 - セラミック製品の製造
USD 500,000 以上	<ul style="list-style-type: none"> - 食品および飲料の製造 - 繊維工業用製品の製造 - 衣料品、織物、履物、帽子の製造 - 家具および備品の製造（天然木以外） - 紙および紙製品の製造 - ゴム製品およびプラスチック製品の製造 - 清浄水の供給、等
USD 1,000,000 以上	<ul style="list-style-type: none"> - 化学薬品、セメント、農業用肥料、科学石油製品の製造

Source: Sub-Decree No. 111/ANK/BK on the Implementation on the Law on Investment & the Law on Amendment on the Law on Investment から調査団作成

2.3 ドナー支援

2.3.1 概要

これまで、ADB や USAID、WB、IFC、GTZ、UNIDO、EU などいくつものドナーが、カンボジア SMEs セクターを支援してきた。これらの支援は、大きく 1) 政策支援：民間セクター振興、SMEs セクター振興、投資促進、輸出支援、制度整備・構築支援などと、2) 民間セクター支援：Value Chain 強化、収入増加、零細小企業組織化、技術支援、Business Development Service (BDS)強化、資金アクセス改善のための登記や許認可促進などにわたることができる。また、SMEs の業種別には主に製造業、農業・農産物、手工芸を支援している。

たとえば、ADB はカンボジアの貧困削減を大目標として、ガバナンス、民間セクター開発、ジェンダー及び環境問題に取り組んでいる。07 年から 09 年の 3 年間で対象とした Country Strategy and Program (CSP) では、優先分野として農業・天然資源、教育、金融、交通が挙げられているなか、SME 開発プログラムとしても、SMEs に関連する法・規制の整備、企業化の経営能力強化を支援するとしている。また、資金アクセス改善のために TA とマイクロファイナンス機関 (Microfinance Institutions: MFIs) 向けローンを提供している。同プログラムでは、2007 年までに SME accounting guidelines、tax filing guidelines と申請書類の整備を実施し、約 1,000 の SMEs が経理能力強化トレーニングを受けている。

2.3.2 日本の支援概要

日本のカンボジアに対する支援は、これまで地域開発支援 (シアヌークビル)、経済政策支援、投資促進支援 (専門家派遣)、貿易振興支援 (専門家派遣)、中小企業振興 (専門家派遣) などが中心であった。これらは、いずれも無償供与、技術協力による支援であったが、05 年にはじめて電力セクター (送電線) 向けに円借款が供与されている。近年では、漸次円借款の対象セクターも広げられ、港湾や経済特区には既に供与されはじめており、上水整備にも供与が検討されつつある。

2.3.3 SMEs 向け金融支援

SMEs 振興を目的とした金融支援については、KfW 及び IFC から、それぞれ 3 回及び 2 回にわたって供与されている（総額約 26 百万ドル）。いずれも、SMEs 向けに長期資金を現地金融機関を通じて貸し付ける方式(TSL 方式)によって実施されており、カンボジア政府側から高く評価されている（詳細は第 4 章）。

2.4 訪問企業（SMEs）の概要

今回の現地調査時において Canadia 銀行及び農村地域開発銀行（Rural Development Bank：RDB）から紹介を受けて 8 つの産業に跨る両行の顧客企業を訪問調査することが出来た（表 2-5）。ここでは訪問企業 8 社の内製造業関連 6 社を本章で紹介し、給水事業 1 社と電力事業 1 社については第 3 章において紹介する。

表2-5 List of Visited SMEs

No.	Product	Sector	Location
1	Rice Mill	Manufacture of Food, Beverage and Tobacco	Battambang
2	Maize		Banteay Meanchey
3	Pure Drinking Water and Ice Production		Phnom Penh
4	Fish Sauce Production		Phnom Penh
5	Agricultural Equipment production and Repairing	Manufacture of Fabricated Metal Products, Machinery & Equipment	Kampong Chhang
6	Clay Brick Production	Manufacture of Non-Metalic Mineral Products, except production of Petroleum & Coal	Kandal
7*	Electricity Supply	Energy	Kampong Chhang
8*	Clean Water Supply	Water	Kandal

Source: 調査団作成

* Electricity Supply SME and Clean Water Supply SME are reported in the Chapter III

2.4.1 食品・飲料（タバコ含む）セクター

このサブセクターで最も SMEs 事業所数が多いのは精米所（Rice Milling）であり、その数は実に 23,103 社と全 SMEs セクターの 7 割以上に達し、一大企業群といえる（表 2-3）。この多くは、95 年の米流通自由化以降に設立された精米所であり、精米所は年々増加している。同サブセクターの従業員数は 47,887 人であり、企業あたり平均従業員数は 2 人と零細である。その一方、約 7 割の企業は認可済みであることから、零細であるにもかかわらずフォーマルな企業が多いことが特徴といえる。生産高は約 55.4 千万ドルであり、すべてが国内消費される。因みに、中小企業に係る現状（統計）を取り纏めた MIME の Technical Report（2007）によると、当該セクターの設備投資額は約 26 千ドルであり、その約 6 割は固定資産である。

◆ 訪問企業 1：精米所（Battambang 州）

Paddy rice は、カンボジアで生産される農作物（food crops）の生産量の約 9 割を占める主要農産物である。カンボジア北西部の Battambang 州は、有数の paddy rice 産地であ

り、05年では約6百万トンを生産し、耕地面積は約2.4百haにのぼる。

訪問した精米工場は、Battambang州にあるpaddy rice農家から購入した米を精米し、Phnom PenhやSeam Reapなど周辺地域向けに販売している。

精米量は、食用米1日当たり13トン、飼料用米が2トンである。米の収穫が年1回であるため、大量の在庫管理を余儀なくされている。同社の売上高は、食用米が月約58.8千ドル、飼料用は月約29.4千ドルで、合計月約88.2千ドルの売上となる。



精米機



大量の在庫を保管

同精米所の固定資産は、工場建屋(2軒)と土地、原材料(paddy rice)在庫(約1年分)、ディーゼル燃料在庫(約1ヶ月)である。機械設備は、97年に中古で購入した精米機が1基と輸送用のトラックであり、その他大きな資機材はない。

2006年現在の債務としては、RDBから6万ドルを長期ローン(1年、年利6%)の借入れを行っている。今後の投資計画として、精米機の新規購入費用14万ドル及び新しい工場建屋の建設に10万ドル、合計24万ドルの借入を検討している。

◆ 訪問企業2:AID Farmers 協同組合(穀物、特にメイズ、キャッサバ加工、Banteay Meanchey州)

カンボジアにおけるメイズの生産は、この10年の間に飛躍的に伸び、05年には247.8千トンで、85年に比べ6倍となった。また、キャッサバの生産量も急増しており、05年には85年生産量の10倍を超える5,356千トンとなっている。メイズ・キャッサバは主に飼料として使用されている。

訪問先は協同組合で、周辺地域では唯一の乾燥機を持つ。周辺農家から買い上げたメイズ、キャッサバ、大豆などを長期保存のために乾燥し、主としてタイに輸出している。

生産(乾燥)工程は、周辺農家から購入したフレッシュ・メイズの場合、芯を取り除き粒状態にし、乾燥し、袋詰めにするというものである。メイズは1日80トン乾燥できる。生産量としては、農家から1万トンを購入し、6千トンの乾燥メイズを生産する。キャッサバは4千トンを購入し、1.6千トンの乾燥キャッサバを生産する。

フレッシュ・メイズ購入価格は、kg当たり0.15ドルであり、wholesalersへの販売価格

は kg 当たり 0.25 ドルである。フレッシュ・キャッサバの購入価格は、kg あたり 0.06 ドルであり、卸売業者への販売価格は kg あたり 0.15 ドルである。昨年度は、メイズは約 6 万ドルの利益があった一方、キャッサバは約 3 千ドルの減益となっているが、今年両者併せて 7.3 万ドルの収益を見込んでいる。

同工場の固定資産は、乾燥工場建屋（50m x 35m）と土地であり、それぞれ投資額は約 44 万ドル、約 9 万ドルであった。また、機械設備として、乾燥機（1基）とウェイトブリッジ（1基）⁴を所有しており、それぞれ約 22 万ドル、約 9 千ドル、合計約 76 万ドルを投じている。



ドライヤー



メイズ芯を取り除く工程

上記設備に対する投資のため、RDB から 40 万ドルの長期ローンを借入れている（期間 5 年、年利 8%）。今後の設備投資予定として、乾燥工程を効率化するために、コンクリート製の天日干スペースの建設と工場の拡張を検討している。また、UNDP からメイズを乾燥して出すだけでなく、周辺から購入できる小魚などと調合して飼料化し付加価値をつける提案を受けており、検討中である。飼料製品化にあたっては、新たな資機材を購入する必要がある。

◆ 訪問企業 3：Kuoch Sopha's Pure Drinking Water and Ice Production, Phnom Penh

訪問先は、Phnom Penh 市内で地下水を汲み上げ浄水した飲料用の水とボトルの製造及び製氷の企業（生産ウエイトは、水 10%、ボトル 30%、製氷 60%）である。同社の主力である製氷の生産量は、日産約 800 缶（1 缶 75kg/日）である。1 缶あたり 2.5 ドルで販売することから、月当たりの平均売上高は 55 千ドルである。夏季には製氷のウエイトが上がり生産量が 2 倍になり、約 92 千ドルに達する。

固定資産としては、地下水汲み上げ設備、浄水設備、製氷設備を備える工場とボトル製造工場の 2 工場、



製氷設備

⁴ Weight BridgeあるいはVehicle Scaleという、荷積みした車両のまま重量を計測できる機器。

及び土地がある。

事業拡大のために、06年以降3回に分けて合計23.5万ドルをCanadia銀行から借入れた。今のところ投資計画は未定だが、数年毎に同程度の設備投資を行っていきたいと考えている（年5万ドル程度）。

◆ 訪問企業4：Daily Natural Foodstuff Co.Ltd. (Fish Sauce、Phnom Penh)

訪問先は魚醤メーカーで、在Phnom Penhの30社のうち大手3社の1社。魚醤はタイやベトナムなど近隣諸国との競争が激しく、現在は国内市場向けのみの生産である。

主原料である鮮魚は、年1回購入され、即時熟成工程に入れる（製品化されるまで平均して6ヶ月を要す）。1kgの魚から2リットルの魚醤が醸造されるため、年間2千トン仕入れられる原材料から、4百万リットルの魚醤が生産される。販売価格は、平均0.33ドル/リットルで、年間約132万ドルの売上となる。



醸造設備

同工場の主たる固定資産は、工場建屋と事務所家屋、醸造設備（発酵プール）、原材料棚卸分（1年分）と土地である。機械設備としては圧搾機械とトラックなどがある。

07年にCanadia銀行から近年高騰する原材料購入費として長期ローン（5年、年利12%）10万ドルを借入れた。

2.4.2 非金属加工（石油・石炭製品を除く）セクター

同セクターのSMEs797社のうち煉瓦加工が430社を占めるが、煉瓦加工に従事する企業の1社あたり従業員数は16人と比較的多い。また、430社中410社がライセンスを取得している。煉瓦加工セクターの設備投資は総額約2千ドルのうち、固定資産が8割を超えており固定資産の占める割合が高いことが分かる⁵。

◆ 訪問企業5：Than Sok's Clay Brick Handicraft社（レンガ製造 Kandal州）

同社は、Phnom Penh近郊（車で約1時間）の河川沿いにある建設資材用レンガ製造工場である。近隣の良質な粘土を産出するという、典型的な原料産地である。

製造工程は、原料をレンガのサイズに切出し3日間の天日干しの後、キルンにて約2週間乾燥して製品化する。同工場は月2百万個生産、販売している。

販売価格は、販売単位10万個で400ドル（1個あたり0.004ドル）とされ、月平均8,000ドルを売り上げる。原料費は、輸送費込みでトラック1台あたり20ドル（1台の輸送量は10m³）であることから、製造コストは売上の4割から5割と推測される。

⁵ MIME, Technical Report 2007

同工場の固定資産は、原材料集積地及び天日干し用土地を含む土地、工場建屋、キルン9基（200㎡ x 9）が主たるものであるが、これに加え、長期間保有する原料の粘土と燃料用の薪がある。このほかトラック、運搬器具、燃焼機材等がある。



原材料（土）在庫 / 天日干工程



Kiln 内部

最近、Kiln（2 炉で 4 万ドル）の増設とそれに伴う土地、造型機、トラック（2 台で 5 万ドル）を購入するため Canadia 銀行から長期ローン（5 年、年利 12%）合計 14 万ドルを借入れた。今後は、天日干工程の効率化のための造型機購入（9 万ドル）を計画している。

2.4.3 金属加工・組立セクター

金属加工・組立セクターには 2,380 社のSMEsが存在するとされるが、その内自動車修理業が 466 社、その他金属加工・組立業が 402 社である。どちらも平均従業員数は 4 人強、ライセンス取得企業は約 8 割と高い。ちなみに、どちらも設備投資はそれぞれ約 1 千ドルであるが、うち固定資産は自動車修理業が 7 割、その他金属加工・組立業者では 9 割に上っていることから、どちらも資本装備率が高いといえる⁶。

- ◆ 訪問企業 6:Hun Heang's Agricultural Equipment and Machinery Supply (農機具修理工場、Kampong Chhang 州)

カンボジアは農業が主要産業であることから、農耕機械の調達や修理の関連サービスの需要は大きい。今回訪問した企業でも、タイなど近隣諸国から新品あるいは中古の



農耕機械の修繕



ドリル

⁶ MIME, Technical Report 2007

耕作機械を輸入し、カスタマイズした上で注文に応じた加工・組立てを行っている。

同工場の固定資産は、建屋（修理工場兼店舗の 2 箇所）と機械設備（簡易溶接機械、ドリル機械等があったが、工作機械はなかった）、それに販売用耕作機械・エンジン（タイからの輸入品が多い）である。鉄棒を曲げる作業を数人がかりでやっている姿が印象的であった。工作機械の旺盛な需要を感じられた。

06 年に、修理・加工機械の購入と店舗拡張のため 10 万ドルの投資を行っている。この投資のため、自己資金 6 万ドルと Canadia 銀行からの 4 万ドルの長期ローン（5 年、年利 12%）で実施した。今後の投資予定としては bending 機械の購入を検討している。

2.5 製造業関連 SMEs セクターの資金需要

今回の現地調査で感じたことであるが、カンボジアの製造業の生産設備は周辺国に比べても極めて貧弱で、その生産性は言うまでもなく低い。一方、需要は全ての商品に亘って極めて旺盛である。特に農産品、加工食品、飲料類（水を含む）、建設資材、衣類・衣服等消費物資に対する需要は強い。またこれらの商品を生産する設備需要も同様に強い。

このような状況下にあって、SMEs の設備投資の意欲は非常に強いものがある。この全体を数字的に把握することは極めて難しいため、ここでは今回訪問した 6 つの SMEs との面談内容等を基にして、それらの属する 6 業種のここ 2～3 年における設備投資を想定し、製造業全体の参考例としてその資金需要を推測してみたところ、以下の表の通り約 12.3 百万ドルと概算された。

表 2-6 Trial Calculation for Financial Demand

Sub-sectors	Financial Demand (USD)	Number of Projects	Sub-total (USD)
Manufacture of food, beverage and tobacco			
- Rice mill	150,000	30	4,500,000
- Maize dryer	400,000	5	1,000,000
- Others (fish source, ice, etc.)	200,000	20	4,000,000
Manufacture of non-metallic mineral product except product of petroleum and coal			
- Clay brick	120,000	15	1,800,000
Manufacture of fabricated metal products			
- Agriculture equipment and repairing	50,000	20	1,000,000
Total			12,300,000

Source: 調査団作成

すでに、一部のドナー（KfW や IFC）が長期ローン貸し出しを目指した支援を行ってきたものの、それらの規模は小さく、決して十分であるとは言いがたい。TSL を通じて資金支援を拡大することによって、SMEs セクターに対しより包括的な支援（すでに行われている大規模なビジネス環境整備と資金支援）を提供することができ、SMEs 振興を促進することが期待される。

第3章 公益セクターにおける中小企業

3.1 上水セクター

3.1.1 概観

(1) 水へのアクセス

カンボジアの浄水設備は、長らく続いた内戦のため極端に疲弊していた。その後 90 年代半ばから、日本をはじめとするドナーからの支援を受け、施設の改修・拡充が実施されたことから、Phnom Penh 等都市部の施設は大幅に改善されたものの、地方における改善は進まず、都市との格差はむしろ拡大している。

政府が実施した Socio-Economic Survey (2004) によると、首都 Phnom Penh では安全な水へのアクセス率は 88.6% (04 年時点) と高い水準に達している。

一方水の普及率を都市部と農村部を比較してみると、98 年時点ではそれぞれ人口の約 60%、約 24%であったのが、04 年にはそれぞれ 72%、39.6%にまで高まり、その改善ぶりがわかる(表 3-1)。しかし、安全な水の中でもより安全性が高い水道網または共同栓による給水の普及率は、都市部で 37.4%、農村部で 3.3%であり、依然として低い水準にとどまっております、一層の改善が望まれる。

表 3-1 Access ratio to safe water (against population, as of 04)

Source of water	CIPS		
	Total	Urban	Rural
Safe water			
Piped network / public faucet	8.2	37.4	3.3
Deep well	26.3	20.5	27.3
Dug well (protected)	3.0	4.5	2.7
Rainwater	-	-	-
Water vender	6.7	9.6	6.3
Sub-total	44.2	72.0	39.6
Unsafe water			
Dug well (unprotected)	26.6	11.6	29.1
Pond, spring, river, etc.	28.5	16.1	30.5
Others	0.7	0.3	0.7
Sub-total	55.8	28.0	60.3

Source: National Institute of Statistics

Note: CIPS=Inter-census Population Survey

(2) MDG 目標

安全な水の供給はミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) の重要項目の 1 つで、その達成は国家開発戦略計画 (06~10 年) においても優先開発目標の 1 つと位置付けられている。因みにカンボジアに課せられた MDGs では安全な水へのアクセス率の目標として、10 年までに、都市部では 74%、農村部では 40%、さらに 15 年までに、都市部では 80%、農村部では 50%となっていて、現在のレベルは一応達成されつつあると理解される。

(3) 所轄官庁

カンボジアの上水セクターは、Phnom Penh、Siem Reap の 2 大都市においては、従来当該都市政府に管轄していたが、現在はそれぞれ独立した水道供給公社によって運営されている。その他の州都、中小規模市町村は MIME、小規模村落部は地方開発省（Ministry of Rural Development: MRD）と、3 つの政府機関によって分担・管轄されている。

水道供給公社⁷（Phnom Penh:PPWSA、Siem Reap:SRWSA）

ドナーの支援もあって、プノンペン、シャムリアップにそれぞれ水道公社が設立されている。政府としてはこの 2 つの公社を成功例として残る地方州都においても公社化による整備を最重要の選択肢としている。ちなみに PPWSA では、06 年度には 7,062 万 m³ の年間給水量、6,573 万 m³ の年間売水量、約 15.3 万の契約戸数を数えるに至り、給水地域の人口の約 9 割が契約するなど極めて好調である。また水道料金は、平均単価にて 990 Riels（0.25 cents）/m³ 程度と、地方州都の水道事業と比較して極めて低い料金水準を維持できている上、料金徴収率も 99.65% に達するなど好成績となっている。

鉱工業エネルギー省（MIME）

州都（Phnom Penh と Siem Reap を除く）及び中小規模市町村は、MIME が管轄する。これらの地域での水道事業は原則パイプによる給水であることから、MIME は原則水道網による事業を所轄するという役割を担っている。また、水道網が敷設されている 16 の州都のうち 12 州都を MIME が公営水道として直接運営し、残る 4 州都及び州都以外の中小規模市町村の多くは民間企業により民営水道として運営されているが、いずれも MIME の管轄下にある。

地方開発省（MRD）

上記に該当しない水道網以外による水道事業は、MRD の所管となる。代表的なものは地下水汲み上げによる共同栓事業が挙げられ、これらは上述の民間 SMEs による運営ではなく、コミュニティや NGO によって運営される。近年では、人口密度の少ない地域や遠隔地でも水道網敷設による給水ニーズがあるが、民間企業ではなくコミュニティが運営管理責任を持つ場合は、MRD が管理責任を持つ。

(4) 民間水道事業者の動向

政府による上水整備がままならぬ中、90 年代半ばから徐々に進出してきたのが、中小の所謂水道事業者である。カンボジアには従来から飲み水が不自由であったらしく、日々必要とされる飲み水を水業者が天秤棒で運んでくる水に依存していたようで、「水を買う」ことにさほどの抵抗がなかったようである。それに昨今ではペットボトルが一般化し、カンボジの住民は安全な水を買うことには抵抗がない。

これら水道業者は全国で約 300 社とされ、そのうち約 68 社が認可企業とされている。そし

⁷ 関係省庁（MEF、MIME、内務省:MoI、市政府など）の代表者より構成される経営委員会の監督のもと、運営と財務管理に関する裁量と権限を付与されたい水道事業を運営している。

てその運営規模によって3つに分類される。第1は、小・零細企業（売水量で15千 m^3 /年以下：浄水工程は殆どなく、取水の上薬品を投入して直接給水する。給水戸数が200以下、従業員数で3人以下）で全体の約4分の3を占める。次に中規模企業（売水量で15～60千 m^3 /年、給水戸数が300～600）で全体の2割以下を占める。最後に、これら事業規模以上の大規模企業（Established Operators）が約20社（7%）存在し、先の4州都における民営水道も含まれる。

水道事業者の営業地域としてはカンボジアの行政区分（20州と4特別市、185郡、1,621コミューン、13,911村落⁸）から見ると、おそらく郡の中心となる町（戸数としては500戸以上）が対象となり、中でもより人口が多い中規模町村が対象となるものと思われる。

3.1.2 政府の方針

(1) 人口の多い都市部優先のアプローチ

2004年にカンボジア政府が取りまとめたUrban Water Strategic Frameworkのよると⁹、政府の方針は人口密度が高い州都等都市部に主眼が置かれており、都市部における給水整備の拡充と持続性確保のために制度強化することを目指している。

また中小規模町村に対しては、政府は財政不足を理由に直接支援が出来ない現状に鑑みて民間企業の進出を図る一方、ドナーと協力して給水整備に注力する姿勢を示している。

(2) 民間参入の促進

カンボジア政府は州都等の大都市においては現在 MIMC 直轄となっているところを徐々に公社化していくことを大前提としている（少なくとも6州都においてはその方向で進んでいる）。しかし州都の中でも既に民間によって運営されている州都が4つあり、いまだその方向が決まっていない5州都においてはその方向は決まっていない。実際のところ民間の進出はむしろ大都市以外、特に中小規模市町村において着実に進んでいるのが現実の姿である。政府による整備は全く期待されないことから民間の進出が政府及び受益者からむしろ歓迎されている。前述の MIMC-DPWS のなかで「政府は上水道セクターの開発に必要な投資額を確保するうえで、民間投資が官民協調型ファイナンスなど多様な形態での民間事業者の参入を奨励する」と明示されている。

3.1.3 ドナー支援の状況

カンボジア国の上水道セクターへのドナー支援は、90年代中頃より本格化し、世銀、ADB、日本、フランス開発庁（Agency of France for Development : AFD）などが中心となり進められた。中でも日本政府は同セクターにおける支援の中心的な役割を演じた。具体的にはプノンペン市上水道整備に対して2回に亘って無償協力と技術協力を供与し、さらにシエムリアップ上水道建設に無償協力を供与し、同施設を公団化して立ち上げた業績は大きい。一

⁸ JICA(2006)カンボジア国再生可能エネルギー利用地方電化マスタープラン調査

⁹ Urban Water Strategic Framework (2004)。同報告書は、世銀が中心となり見直され、Implementation Strategy for Urban Water Supply Policy (2006)としてまとめられている。

¹¹ JICA(2006)カンボジア国再生可能エネルギー利用地方電化マスタープラン調査

方同セクターに対する円借款の実績は今までのところないが、シエムリアップ上水施設、シアヌークビル上水施設の拡張に対する円借款供与を現在検討中のよし。主なドナーの支援内容は以下のとおりである。

地方における支援をみると、ADB が 8 州都を対象にして Rural Water Supply and Sanitation Sector (RWSS) Improvement Plan を実施している他、05 年から 15 年までに rural population の 50% が安全な水にアクセスできるよう、30% が公衆衛生設備整備に取り組んでいる。このうち、05 年から Tonle Sap Rural Water Supply and Sanitation Sector Project として Tonle Sap 周辺の 5 つの provinces (1,760 村) において、109 万人が安全な水にアクセスできるよう給水施設の拡充を目指している。この支援は、08 年から第 2 次として広範な地域を対象として Rural Water Supply and Sanitation Sector Project の名称の下に引き継がれている。

一方、世銀は 90 年代後半から中規模町村を対象にした支援を活発化している。これは中規模町村に進出している民間の水道事業者の活動をより活発化するために官民協力を促進するものである (Provincial & Peri-Urban Water Supply & Sanitation Project)。本事業では、貧困家庭への接続実績に連動した事業費助成スキームとして、中小規模町村における水道整備 (給水施設の 신설) を実施した。事業の対象町村は給水対象が 500 から 4,000 戸数と幅が広いが、平均すれば 2 千戸強の地域である。世銀によれば、サブ事業は全 17 事業、サブ事業当たりの施設整備費は平均で 45.3 万ドルであった。

このほか、AFD が小規模村落に対して PPP 方式にて支援事業 (Small-scale Piped Water System Project: MIREP) を展開している。MIREP は 01 年に開始され、Takeo 州の小規模村落にて 14 事業が実施され 05 年に完了した。約 3 万人が裨益している。

以上を表示したのが下記表 3-2 である。

表 3-2 過去の主な上水道セクターにおける政府開発援助

ドナー	主な支援内容
JICA	Phnom Penh 市上水道整備計画第 1～2 次 (94～98 年) - Phnom Penh (PPWSA) 水道施設の拡充
	プンプレック浄水場拡張計画第 1～2 次 (01～02 年) - PPWSA 水道施設の拡充
	Siem Reap 水道整備計画 (04 年) - Siem Reap (SRWSA) 水道施設の拡充
世界銀行	Urban Water Supply Project (98～04 年) - PPWSA および Sihanoukville 水道施設の拡充
	Provincial & Peri-Urban Water Supply Project (03～06 年) - 貧困家庭への接続補助、給水事業、PPWSA 給水地域拡充
ADB	Phnom Penh Water Supply & Drainage (96～03 年) - PPWSA 給水施設の拡充
	Rural Water Supply & Sanitation Sector Project (05～15 年) - Battambang、Kampot、Kampong Cham、Kampong Thom、Prusac、Svay Rieng の 6 州都の水道施設の拡充
	Second Rural Water Supply & Sanitation Sector Project (08 年～) - 上記 6 州に加え、Banteay Meanchey、Oddar Meanchey、Preah Vihear の 3 州都における水道施設の拡充
AFD	Small-scale Piped Water System Project-MIREP (01～05 年)

	- Takeo 州内の小規模町村を対象に 14 事業
オランダ	Provincial Capital City Water Supply (94 ~ 95 年) - Kampot、Kampong Cham、Kandal、Prey Veng、Svay Rieng の 5 州都 の水道施設拡充

このほか KfW が中小企業向けの TSL を供与しており、前述の水事業者がその給水事業に対して Canadia 銀行等から Sub-loan を受けているが、そのうちの 1 つを訪問したのでその概要を以下に記す。

◆ 企業訪問： Hi Leang’s Water Treatment Station （ Kampong Chhang 州 ）

本調査では、Kampong Chhangにある事業登録している水SMEを訪問調査した。同地域には公共の給水ネットワークが整備されておらず、小型浄給水設備により川の水を浄水し、パイプラインにより、500 世帯に水を供給している。販売価格は 5,000 リアル/m³でポンプの約 5 倍と高い。08 年にプラント建設のため 7 万ドルの投資を行った。このうち、4.5 万ドルは自己資金、残り 2.5 万ドルはCanadia銀行から長期ローン（5 年、金利 12%）で賄った。



小規模給水・浄水設備

3.1.4 上水セクターにおける長期資金の需要

上水セクターに進出する民間水道事業者の数は約 300 社で、MIME に登録済みの企業は約 68 社と前述したが、これらの 68 社が投資をしている町村は相対的に大きく、中でも世帯数が 500 から 1,000 戸の町村に投資しているケースが多い。また MIME は設備投資（浄水装置と送水管・取水管）のコストとしては 1 戸当たり 350 ~ 500 ドル（04 年ベース）を認可の基準としている。

今後仮に認可済み 60 社がそれぞれの地域における中規模町村（各 500 戸）において、上水整備に投資を行うとする（設備コストはその後のインフレを加味して上限の 500 ドル/戸として）。そして投資総額の 8 割を借り入れるとすると、その借入金の需要額は以下の通りと計算される。

$$60 \text{ 社} \times 500 \text{ 戸} \times 500 \text{ ドル} \times 0.8 = 12 \text{ 百万ドル} = 12 \text{ 億円}$$

3.2 電力セクター

3.2.1 概観

(1) 全国的な電力需給

カンボジアの電力供給能力は政府の積極的な支援もある独立発電事業者 (Independent Power Producers: IPPs) の参画もあって漸次強化されてきたが 06 年末約 253MW となった (内 IPPs の比率は約 60%)。そしてその全量が MIME と MEF が共同管轄するカンボジア電力公社 (Electricité du Cambodge: EdC) によって南部グリッドを通じて Phnom Penh 周辺に送配電されている。その他の広大なオフグリッド地域では民間の地方電気事業者 (Rural Electricity Enterprise: REE) によって部分的に賄われているにすぎない (発電、送配電とも)。

電力の供給能力を地域的に見ると、カンボジアは 24 州 (20 州と 4 特別市)、185 の郡、1,621 のコミューン、13,911 の村落からなるとされるが¹¹、地域的に見るとグリッドによる電化率は、Phnom Penh 周辺の都市部を含め 15.3% に過ぎず、大半がいわゆるオフグリッド地域に属し、その中で REEs のより電力供給を受けているのは 5% ぐらいで、併せて 20% 強が電力にアクセスできるに過ぎず、残る 80% 弱が電気のない生活を余儀なくされている。

(2) オフグリッド地域の電力需給

オフグリッド地域における電力供給は家庭照明目的のバッテリーを除くと殆んどが上述の REEs によって供給されている。REEs の電力は電圧も一定せず、供給時間も限られておりその利用はすこぶる不便となっているが、その料金も約 2,000 リアル/kWh から約 3,500 リアル/kWh¹² と高く消費者の不満は高い。

REEs 発電の多くはディーゼル発電で未だソーラー、小水力等の再生可能エネルギー発電は少なくとも商業ベースでは見かけられず、この面に注力する近時の政府の方向とは異なるものとなっている。因みに地方電化基金 (Rural Electrification Fund: REF) により推進されているソーラー発電は今のところ全て個人向けを対象とされている。

REEs の企業数は 01 年に 600 社とされていたが、カンボジア電力庁 (Electricity Authority of Cambodia: EAC) によると 08 年には 400 社まで減少しており、競争が激化していることが伺われる。

3.2.2 政府の方針

(1) グリッド化の推進とその目標

政府は全国的にグリッド化を進めることを大目標としているが、その方針は 3 段階に分かれており第 1 次計画 (Power System Development Plan (2007 年-10 年)) では、南部地域計画 (Phnom Penh, Kandal, Kampong Speu, Takeo, Kampot and Shihanoukville) それに続いて西部地域計画 Eastern zone (Banteay Meanchey, Battambang and Siem Reap)、さらに北部・東部地域 North-Eastern zone (Kampong Cham and Steung Traing) に幹線網を順次配備していく予定である。しかしながら、グリッドによる電力供給は 100% 網羅することは不可能とされ、政府と

¹² Economisti Associati (2006) Small-scale Private Service Providers of Water Supply and Electricity

しては 30 年までに人口の 70% をグリッドでカバーすることを目標としている。

(2) オフグリッド地域への対応

カンボジア政府はグリッド整備による電化とともに、地方の広大なオフグリッド地域の電化を進めているが、その方向は以下の 2 点に絞られている。

第 1 は民間電力事業者 (REEs) に対する支援である。REEs は 08 年現在約 400 社ありそのうち約 220 社が MIME の認可を受けているが、総じてその財政基盤が低いことから、そのサービスは質的に不十分であるとともに、その料金は高く改善の余地が高い。因みに、EAC によると 99 年に、世銀と IFC が REEs 向けに民間銀行を通じるローンプログラム (約 6 百万ドル) を検討したが、オペレーション・コストやリスクが高すぎて断念した経緯がある由。これはその後 AusAID が保証機能を取り入れたスキームで再検討中とのことである。

第 2 は世銀・ADB の協力のもとで、再生可能エネルギーを利用して地方電化を図ろうとするもので 2020 年までにすべての村落でいずれかの形 (ソーラーや水力などを含む) で電化したいとしている。このために次項に示す基金が設立されている。

(3) 地方電化基金 (REF) の概要

政府は世銀と ADB の支援を得て、04 年に REF を創設した。その目的として、1) 電力需要を経済活動用、社会活動用、家庭用別に分けて、それぞれ支払い可能な価格体系を確立して地方電化を推進する、2) 民間セクターの参画を奨励し、地方電化を強化する、3) 発電エネルギー源として再生可能エネルギー開発を推進することを強調している。

3.2.3 民間電力事業者 (REEs) の動向

Phnom Penh 等主要都市及び州都以外の村落における電力供給は、REEs と呼ばれる地方電気事業者によって供給されている。政府はこの REEs を多用して更に地方電化を推進する意向であるが、REEs の実態とその動向について所轄官庁である MIME が調査したところ以下の通りである。

まず、従業員数についてはその殆んどが 10 人未満の中小企業で、中でも 3 人未満の零細企業が過半数 (58%) を占めている。REEs は主としてディーゼル発電 (平均発電容量 72KW) を行い、独自の配線ネットワーク (配電の平均距離 4,240m) を通して周辺住民に電力を供給する小規模グリッドオペレーターである。しかし、財政基盤の弱さからそのサービスの質が悪いのは上述のとおり (1/3 の REEs がロス率 40%、1/2 の REEs のサービス時間が 3~6 時間/日)。

REEs の保有する固定資産規模は平均して 10 万ドル未満で、その内訳は送配電網設備 52%、発電設備 38% とされる。また、投資の資金源としては殆んど (91%) が全額自己資金によるもので、残る 9% が銀行借入れも取り入れて調達したものと考えられる。因みに借入れ金額は最大 3.5 万ドルとされる (金利は年利 18~24%、期間はせいぜい 2 年止まりとのこと)。

今後の設備投資については電力需要は伸びるとして総じて積極的で、その内容についても新規投資が 63% と既存設備の修繕・改善投資 (37%) を上回っていることが注目される。

◆ 企業訪問：Chea Sarath's Electricity Distribution Service (Kampong Chhang 州、Prey Khmer)

Prey Khmer 地域にはグリッドが整備されておらず、Chea Sarath's Electricity Distribution Service が発電設備を 06 年に新設、発電を開始し、周辺 500 世帯に配電している。同社は家族経営で従業員は 3 人で、事業登録済。設備は小型ディーゼル発電機 (3 台)。電力価格は 4,000/kwh リアルであり、都市部より約 4~5 倍と非常に高い。



小型ディーゼル発電設備

設備投資 (土地機械を含め総額 40 万ドル) のため、Canada 銀行から 30 万ドルの長期ローン (5 年、金利 12%、KfW 原資) を受けている。

3.2.4 電力セクターにおける資金需要

電力セクター全体としてはカンボジア全体の電力不足から、発電、送電、配電いずれの段階においてもその設備拡充のための資金需要はきわめて高く、多くのドナーが同セクターを最重点としており、多大の支援を行っている。しかし、これらはいずれも大型プロジェクトを対象にしており、1 件当たりの投資コストも数百万ドル以上で、下記に示す REEs の投資とは異なる。

ここで、今回提案する TSL のサブプロジェクトの対象となりうる中小企業の電力事業者 (REEs) の資金需要を概観する。先の MIMC の調査によると、REEs の多くが電力の先行き需要はすこぶる堅調という見通しで新規投資を希望しているが、銀行の資金力にも制限があり、その借入は難しい現状にある。一方、上述した訪問企業のように建設コストの多くを KfW の TSL による銀行からの借り入れによって調達するケースも増えつつある。Acleda 銀行によれば、この KfW プログラムの下で、2004 年に REEs が運営する 79 のミニグリッドに対し、総額約 20 万ドルが融資されている¹³。つまり、1 件あたりの融資額は約 2,600 ドルと、マイクロファイナンスの範囲にとどまっているが全体として大きな金額となり、地方村落の電化に対する貢献としては注目に値する。

また、REF がその投融資対象としている個人事業者或は村落コミュニティからの資金需要も考えられるが、この分野は上記の REEs の分野より返済能力面でのリスクが高いものの、その社会的意義は高く ODA の対象として他ドナーとも協力してより精度の高いスキームを構築する意義はきわめて高いと考えられる。

ここでは、今回現地で実施した調査の結果を踏まえ、上記 2 つの分野の資金需要について試算すると以下の通り。

即ち、認可済みの REEs 220 社の内、その 1/3 社が 1 件当たり 50 万ドルの設備投資を実行し、その 6 割を提案される TSL から借り入れを行ったと予想すると、約 21 億円 (便宜上 1 ドル = 100 円とする) の借り入れ需要があると計算される。

¹³ JICA (2006)、カンボジア国再生可能エネルギー利用地方電化マスタープラン調査

$$220 \times 1/3 \times 50 (\text{万ドル}) \times 0.6 = 2,110 (\text{万ドル}) = 21 \text{ 億円}$$

なお、このほか再生可能エネルギー発電の分野は今実績として上がっているものは 1 件あたりの金額がすこぶる小さく REEs の投資対象とはなりにくく本調査からは除外したが、今次以降の段階では調査すべき事項と考える。

第4章 金融セクターの概観

4.1 現在の金融セクターの概観

4.1.1 背景

93年に樹立された新政府は国際機関の支援を得て市場経済体制の整備に着手した。金融面での整備の第1歩として従来単一銀行であったカンボジア中央銀行(National Bank of Cambodia: NBC)から商業銀行機能の分離(91年)であり、これに基づき新たにいくつかの商業銀行が設立されたが94年には外資、内資あわせて30行の商業銀行が誕生した。これら銀行はその後漸次成長が見られたが、一般国民からの預金吸収力はインフォーマル・セクターを重視する伝統的な風習もあって、期待されたほどの伸びはなかった。

1997年のアジア金融危機はカンボジアにも影響を与え、多くの銀行が破綻をきたした。これにきっかけに政府は最低資本金の引き上げ等を盛り込んだ銀行法に改正するなど金融機関の強化に乗り出した。また、NBCはIMFの支援を受け銀行改革に取り組み、金融機関の整理、財務体質強化が図られた。この結果金融機関の安全性は飛躍的に改善され、その後の経済の活況化に伴い、その貸出は飛躍的に伸びる一方、その資金調達も預金金利引き上げ等もあって飛躍的に伸びている。また、Non-Performance Loan (NPL)の割合は06年末では9.5%であったが、07年末には3.4%までの改善されており、その成果と見られる(Appendix表A-7)。

4.1.2 金融構造

2007年末現在、カンボジアにはNBCの管理の下に公式な金融機関として、普通銀行17行、特殊銀行7行、マイクロファイナンス機関(Microfinance Institutions: MFIs)が16機関ある。これらはいずれも銀行法の下に与信受信の両面において金融業務を行っているが、その主要な相違点は最低資本金、中銀預託金、貸付規制等によって区別されている(図4-1)。特に重要なのは最低資本金で商業銀行500億リアル、特別銀行100億リアル、MFI2.5億リアルとされている。政府のこれら3つの種類の金融機関を監督する姿勢としては、インフォーマル・セクターに眠っている資金をこれらの金融機関に預金させることによりフォーマル化を進めていきたいというものだと判断される。

一方、証券・債券等の発行、流通を通じる直接金融については証券市場が存在せず、その設立の動きも殆どなかったが、このところ急激にその機運が盛り上がり、政府は来年(09年)市場を開設すると公表している。

4.1.3 政府の方針

2001年、カンボジア政府はADBの支援を得て金融セクターの長期戦略として「Vision and Financial Sector Development Plan for 2001-2010 (FSDP 2001-10)」を策定した。ここでは、長期視野に基づいた金融セクターのビジョンと発展戦略を提示し、活発な資金

図 4-1 NBC による金融機関別認可基準

Commercial Bank	Specialized Bank	Microfinance Institutions
<ul style="list-style-type: none"> ❖ Min. Capital: 50,000,000Riel (depend on current exchange rate) ❖ Deposit (Capital Guarantee) of 10% in NBC with: <ul style="list-style-type: none"> - 5% no interest - other 5% with interest at 75% of six months SIBOR ❖ Limit Ceiling Loan per person / company < 20% ❖ License fee: <ul style="list-style-type: none"> - 70,000,000Riel for the headquarter - 56,000,000Riel for branches ❖ Increase of Capital Fee: 0.03% ❖ Duty: <ul style="list-style-type: none"> - Deposit - Credit - Financial Service - Exchange Foreign Currency - Check Issue - Transfer - Letter of Credit - Derivative Product - Other Commitment 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ Min. Capital: 10,000,000Riel (depend on current exchange rate) ❖ Deposit (Capital Guarantee) of 5% in NBC with: <ul style="list-style-type: none"> - In KHR: 1/2 of refinancing rate set by NBC - In foreign currency: 3/8 of six months of SIBOR ❖ Limit Ceiling Loan per person / company < 20% ❖ License fee: <ul style="list-style-type: none"> - 10,000,000Riel for the headquarter - 8,000,000Riel for branches ❖ Increase of Capital Fee: 0.03% ❖ Duty: <ul style="list-style-type: none"> - Deposit - Credit (Special action) - Financial Service (some parts) - Check Issue - Transfer - Letter of Credit - Derivative Product 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ Min. Capital: 250,000,000Riel (depend on current exchange rate) ❖ Deposit (Capital Guarantee) of 5% in NBC with: <ul style="list-style-type: none"> - In KHR: 1/2 of refinancing rate set by NBC - In foreign currency: 3/8 of six months of SIBOR ❖ Limit Ceiling Loan per person / company < 10% ❖ License fee: 1,000,000Riel ❖ Increase of Capital Fee: 0.03% ❖ Duty: <ul style="list-style-type: none"> - Deposit (Saving) - Micro Credit - Unable to provide Financial Service

Source: マイクロファイナンス協会

流動と堅実な経済成長を可能とするマーケット・ベースの金融システムの実現を目標として、次のような 10 項目にわたる長期発展戦略を公表している。なお、同戦略は 06 年 Financial Sector Development Strategy として継承されている。

- 適正なマクロ経済政策・金融政策の持続性の確保
- 私有財産の保護
- 自由な金融活動、商活動のためのほう、規制の整備
- 適正な銀行間決済システム、会計制度、監査制度の確立
- 金融市場の確立
- 金融セクターにおけるガバナンスの推進と市場ルールの確立
- 金融セクターにおける民営化の促進
- 金融情報における透明性の確保
- 金融セクターにおける競争原理の確保 (Exit Rule の確立)
- 官民連携の促進 (両サイドのキャパシティ・ビルディング)

4.2 資金フローと金融政策

4.2.1 資金フローの推移

市場に流通するマネーフローの目安として金融フォーマルセクターの総資産を見てみ

ると、商業銀行 17 行、特別銀行 7 行合計 24 行の総資産は 07 年末現在 13.4 兆リアルで 04 年（4.7 兆リアル）に比べ 2.9 倍と著増している。これを同 3 年間の GDP の増加率 80.9%と比較すると資産増加率の方が圧倒的に高く、銀行セクターが同国の経済成長を押し上げていることがわかる。同時に銀行の信用力が相対的に高まりインフォーマル・セクターに隠匿された資金がフォーマルセクターに流入してきたこととも理解される（下表 4-1）。

表4-1 Banks / Comparison of Total Assets (2005 -07)

	(million of KHR)							
	2007		2006		2005		Growth Rate (%)	
	Share (%)	Share (%)	Share (%)	Share (%)	Share (%)	Share (%)	2007 over 2006	2006 over 2005
Commercial Banks								
1 Cambodian Public Bank	2,260,384	16.8	983,973	12.8	664,892	11.9	229.7	148.0
2 Canadia Bank Plc.	2,242,342	16.7	1,522,579	19.7	1,225,674	22.0	147.3	124.2
3 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	2,241,988	16.7	830,301	10.8	370,364	6.6	270.0	224.2
4 Aceda Bank Plc.	1,899,200	14.1	900,576	11.7	508,287	9.1	210.9	177.2
5 Foreign Trade Bank of Cambodia	882,057	6.6	896,493	11.6	673,701	12.1	98.4	133.1
6 Cambodian Commercial Bank Ltd.	651,741	4.8	519,549	6.7	460,263	8.3	125.4	112.9
7 May Bank Phnom Penh Branch*	579,078	4.3	339,710	4.4	271,471	4.9	170.5	125.1
8 Vattanac Bank Ltd.	525,085	3.9	287,390	3.7	220,643	4.0	182.7	130.3
9 Union Commercial Bank Plc.	484,253	3.6	423,585	5.5	348,780	6.3	114.3	121.4
10 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	286,990	2.1	203,423	2.6	203,342	3.7	141.1	100.0
11 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	248,674	1.8	109,339	1.4	88,076	1.6	227.4	124.1
12 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	239,441	1.8	210,930	2.7	164,916	3.0	113.5	127.9
13 Singapore Banking Corporation	195,825	1.5	150,818	2.0	127,163	2.3	129.8	118.6
14 Advanced Bank of Asia Ltd.	163,154	1.2	111,765	1.4	87,015	1.6	146.0	128.4
15 Shinhan Khmer Bank	146,180	1.1	-	-	-	-	-	-
16 Cambodia Asia Bank Ltd.	129,027	1.0	89,866	1.2	72,187	1.3	143.6	124.5
17 CAMKO Bank Ltd.	94,792	0.7	-	-	-	-	-	-
Sub-total	13,270,211	98.7	7,580,297	98.2	5,486,774	98.5	175.1	138.2
Specialized Banks								
18 Rural Development Bank	73,534	0.5	65,195	0.8	53,703	1.0	112.8	121.4
19 First Investment Specialized Bank	28,623	0.2	26,938	0.3	-	-	106.3	-
20 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	20,503	0.2	16,909	0.2	16,167	0.3	121.3	104.6
21 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	18,771	0.1	-	-	-	-	-	-
22 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	12,788	0.1	15,684	0.2	12,997	0.2	81.5	120.7
23 Anco Specialized Bank	10,688	0.1	11,030	0.1	-	-	96.9	-
24 Cambodia Development Specialized Bank	9,986	0.1	-	-	-	-	-	-
Sub-total	174,893	1.3	135,756	1.8	82,867	1.5	128.8	163.8
Total	13,445,104		7,716,053		5,569,641		174.2	138.5

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

一方 MFIs も増加率こそ商業銀行に及ばないまでも資金量を増やしている。07 年末の 17MFIs 全体の資産合計は 320 億リアルで 04 年（182 億リアル）に比して 75.8%増加しているが、05 年以降の増加率はそれ以前（02～04 年）の増加率に比べて低水準となっている。これは従来 MF の分野に流入していた資金が商業銀行に流れたことによるものと思われる（下表 4-2）。

表4-2 MFIs / Comparison of Total Assets (2007)

	(million of KHR)							
	2007		2006		2005		Growth Rate (%)	
	Amount	Share	Amount	Share	Amount	Share	2007/2006	2006/2005
Microfinance Institutions								
1 AMRET	153,280	21.1	92,388	22.0	62,416	25.2	165.9	148.0
2 PRASAC	148,067	20.3	106,511	25.3	52,176	21.1	139.0	204.1
3 Cambodia Enterprenur Building	95,808	13.2	53,959	12.8	28,205	11.4	177.6	191.3
4 Hattakaksekar	65,590	9.0	26,639	6.3	16,940	6.8	246.2	157.3
5 Thaneakea Phum Cambodia	62,577	8.6	31,218	7.4	21,068	8.5	200.5	148.2
6 Vision Fund Cambodia	54,211	7.4	27,831	6.6	16,973	6.9	194.8	164.0
7 Angkor Microherhvatho Kampuchea	49,318	6.8	25,305	6.0	13,191	5.3	194.9	191.8
8 CREDIT	43,758	6.0	22,628	5.4	12,313	5.0	193.4	183.8
9 SEILANITHIH	15,429	2.1	7,898	1.9	6,594	2.7	195.4	119.8
10 Intean Poalroath Rongroeng	11,855	1.6	8,665	2.1	4,863	2.0	136.8	178.2
11 CHC	7,666	1.1	4,884	1.2	2,354	1.0	157.0	207.5
12 Entean Akpevath Pracheachun	6,790	0.9		0.0		0.0		
13 Farmer Union Development Fund	4,387	0.6	3,936	0.9	2,986	1.2	111.5	131.8
14 Cambodian Business Integrate in Rural Developm	3,941	0.5	3,977	0.9	3,335	1.3	99.1	119.3
15 MAXIMA	3,679	0.5	2,891	0.7	2,001	0.8	127.3	144.5
16 Pisit Akphiwat Sethakech	1,135	0.2	1,560	0.4	1,366	0.6	72.8	114.2
17 Tong Fang Microfinance	504	0.1	602	0.1	662	0.3	83.7	90.9
Total	727,995	100	420,892	100	247,443	100	57.8	170.1
GDP	32,980,000	2.2	29,513,000	1.4	25,350,000	1.0	154.8	146.1

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007 * Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

4.2.2 流通通貨

IMFによると、銀行の受信与信に占めるドル通貨の割合は95%を超えるとされている。ドル化の現象は従来から海外からの援助資金が流通資金の中で大きな割合を占めていること、また主要な海外直接投資（FDI）は海外の親会社との取引が全てドルによって行われていることが原因とされ、当分続くものと予測される。なお、リアル通貨での預金は何故か国立の外国貿易銀行（FTB）に集中し、ドルとの交換はインフォーマルなMoney Changer(認可済み、但しNBCの監督は受けない由)で行われているようである。

4.2.3 金融政策

金融セクターがここ2年ほどの間に急速な成長したことから、インフレ懸念や従来からの銀行の信用性に対する懸念が再燃している。IMFはこの点に焦点を当てて特別な調査を実施したが（07年8月）結果報告としてはマクロ経済的な懸念、並びに銀行の信用懸念は共に02年来の金融改革が奏功して左程深刻なものではないと結論を下している。

4.3 銀行セクター

4.3.1 銀行の資本構成

銀行セクターには07年末現在NBCの監督の下に17の商業銀行、7つの特殊銀行が存在するが、多くの外国資本が参入していてカンボジア国内資本の銀行は17行のうち100%国内資本によるものが4行、合弁事業（Joint Venture: JV）を含めても7行に過ぎず、国内資本は相対的に弱いものと思われる（3行の合弁相手先国はマレーシア（Union Commercial Bank: UCB）、オーストラリア（ANZ銀行）、ドイツ他（Acleda銀行）である）。外資の国別をみるとマレーシアが3行と1番多く、タイ、シンガポールが2行、台湾、香港、韓国が2行となっている。国際機関としてはIFCがAcleda銀行に出融資

している。

一方特殊銀行の資本構成は7行のうち4行が全額内資で、残る3行も内資が資本の過半を占めている。このことから特殊銀行は内資の銀行セクターへの進出奨励のため設立されたものであることが伺われる。また特殊銀行7行のうち1行(RDB)は全額政府出資となっているが、他行はいずれも民間資本によるもので、その貸付業務になんらの制限もされていないことから、特別銀行は商業銀行の第2群(2nd Tier)に属する金融機関と位置づけられるものと思われる。

4.3.2 自己資本及び借入金 (Capital & Liability)

商業銀行の自己資本比率は10%以上と規制されているが、07年末現在上位8行がこの基準に未達であるのに対し、残る下位行及び特殊銀行が、おしなべて基準を大幅に上回るという奇妙な状態となっている。これは、総資産の多寡が銀行の信用力によって左右される預金量に大きく依存していることの証左と思われる。因みに、預金高の多い上位3行のCambodian Public Bank (CPB)、Canadia銀行、ANZ Royal銀行もそれぞれ8.0%、7.2%、7.1%の水準となっている。(下表4-3)

表4-3 Banks / Share of Paid-up Capital (2007)

	Foreign Share		Cambodian Share		Total Paid-up Capital (A)	(A) / Total Assets (%)	Market Share
	Share (%)	Amount paid	Share (%)	Amount paid			
Commercial Banks							
1 Cambodian Public Bank	100.0	180,135			180,135	8.0	11.9
2 Canadia Bank Plc.			100.0	162,302	162,302	7.2	10.7
3 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	55.0	88,066	45.0	72,054	160,120	7.1	10.5
4 Aceda Bank Plc.	49.0	58,844	51.0	61,246	120,090	6.3	7.9
5 Foreign Trade Bank of Cambodia			100.0	52,039	52,039	5.9	3.4
6 Cambodian Commercial Bank Ltd.	100.0	52,039			52,039	8.0	3.4
7 May Bank Phnom Penh Branch*	100.0	53,640			53,640	9.3	3.5
8 Vattanac Bank Ltd.			100.0	52,039	52,039	9.9	3.4
9 Union Commercial Bank Plc.	47.1	26,701	52.9	29,941	56,642	11.7	3.7
10 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	100.0	52,039			52,039	18.1	3.4
11 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.			100.0	140,105	140,105	56.3	9.2
12 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	100.0	52,039			52,039	21.7	3.4
13 Singapore Banking Corporation	100.0	52,039			52,039	26.6	3.4
14 Advanced Bank of Asia Ltd.	100.0	72,054			72,054	44.2	4.7
15 Shinhan Khmer Bank	100.0	52,039			52,039	35.6	3.4
16 Cambodia Asia Bank Ltd.	100.0	52,039			52,039	40.3	3.4
17 CAMKO Bank Ltd.	100.0	52,039			52,039	54.9	3.4
Sub-total		843,713		569,726	1,413,439	10.7	93.0
Specialized Banks							
18 Rural Development Bank			100.0	27,871	27,871	37.9	1.8
19 First Investment Specialized Bank	32.0	4,868	68.0	10,344	15,212	53.1	1.0
20 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.			100.0	14,011	14,011	68.3	0.9
21 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	10.0	2,002	90.0	18,014	20,016	106.6	1.3
22 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank			100.0	12,009	12,009	93.9	0.8
23 Anco Specialized Bank			100.0	10,408	10,408	97.4	0.7
24 Cambodia Development Specialized Bank	20.0	2,402	80.0	9,607	12,009	120.3	0.8
Sub-total		4,404		102,264	106,668		7.0
Total		848,117		671,990	1,520,107	11.3	100.0

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

一方借入金サイドとしては全体として国内預金への依存が高いが、預金は自己資本が高い銀行に集中し、資金量は上位行と下位行の格差が拡大する傾向にある。因みに預金は

1年ものが最長であるが、この預金金利は大手では1年物で6.5%であるが、同じ期間もので8.0%を出す銀行も出てきて競争は激化している。

4.3.3 融資状況及びその金利水準

経済の活性化に伴い資金需要は急激に伸び、銀行の貸出も急激に増加している。この傾向は Penom Penh 等の都市部に限らず地方においても同様で、その産業セクターも幅広く多岐にわたる。更にその資金需要は設備投資資金等を充当すべくより長期の、且つ1件当りの融資資金がより大きいものへの要望が強くなっている。特に長期の資金需要が強い産業分野としては、農業関連製造業（輸出穀物の乾燥機、精米機等）、食料関連工業（醤油製造、製氷、缶ジュース類等）、建設資材製造（レンガ製造、鉄バー製造等）などがある。さらにカンボジアの現状から見て地方村落部での発電・配電、地方中規模都市での上水整備のための資金需要も根強い。

カンボジアは総じて貸手市場であり、資金需要に対する銀行の条件は厳しく、借り手の要望とのギャップが大きい。特に担保、融資金利水準について貸手、借手間の意見の隔たりは大きい。

4.3.4 収益性と NPL

受与信間の金利差が高い割に、カンボジアにおける銀行の収益率は総じて低い水準にある。これは預金の多くが銀行の信用力増強のために、NBC への預託が相対的に高く義務づけられ、多くを貸付に回せないことによる。また貸出が多いところでは、他銀行からの借り入れに多く依存したことから、そのコストは当然割高となっていることも大きい。

07年における商業銀行17行の対総資産利益率は平均2.8%、対貸付金利益率の平均は6.0%とそれぞれ相対的に低水準なレベルにある。これは前述の通りNBCへの預託率が高いことと預貸率が低いことによるものと思われる。因みに預貸率は07年62.9%と若干の改善見ているが依然その絶対水準は低い（05年59%）。

また対貸付利益率については各行において大きな差異が生じており、損失計上の2行を除いても0.4%から16.6%の開きがある。これは銀行間に案件の審査能力に差がある証左といえよう。

NPLについてはNBCの強力な指導があって、07年における17行平均は3.5%で、前年の9.6%から大幅に改善されている。ただ、銀行間にばらつきがありNBCの更なる個別指導が必要とされる。

4.4 主要銀行の概要

今回の現地調査時において以下の4銀行を訪問して経営陣と面談した。以下4行の年報等資料をベースに面談事項も踏まえ、各行の概要を纏めた。

4.4.1 Canadia 銀行

Canadia 銀行はカナダへの移民が戻って 91 年に設立したカンボジア資本 100%の、名実ともにトップ商業銀行である。07 年は自己資本金、総資産でマレーシア資本 100%の Cambodian Public Bank(CPB)にその 1 位の座を僅差で譲ったが、収益率等において実質的には第 1 位にある。業務ネットワークとしては国内に首都圏を中心に 28 支店と 36 の ATM を有している。また従業員は 2007 年末で約 633 人(Acleda 銀行に次ぎ第 2 位)。その貸付総額は 2007 年 334 百万ドルで、業種別にはサービス業が最も多く 30%、さらに卸・小売業、不動産、建設、製造、農業と幅広い。貸付先としては他行に比べ法人向けが多くその分業績が安定しているといえよう。貸付の内訳を見ると、2007 年の実績で、商業貸付が 211.4 百万ドル、抵当貸付が 43.8 百万ドル、KfW からのファンドを基にした SMEs 向け貸付 4.9 百万ドルなどである。因みのその NPO 比率では急激な改善が見られる。

受信サイドでは総預金が 459 百万ドルと高く業界第 2 位にある。したがって預貸率も相対的に低く、その業績は安定しており利益率も高い。利益率でも 07 年 4.6%と高い水準になっている。

Canadia 銀行は IFC、KfW からローンを積極的に受け入れ、中長期貸付業務の導入に注力している。また、資金と共に技術支援 (TA) の受け入れにも積極的で評価されよう。

4.4.2 Acleda 銀行

Acleda 銀行 (Association of Cambodian Local Economic Development Agencies) は 93 年に設立された MFI を母体に 00 年に商業銀行と認可された銀行で、カンボジア全土に 214 支店を持ち、地方では圧倒的な強みを持つ。08 年 1 月にはラオスに 3 店舗を開設している (カンボジアの銀行としては外国進出の第 1 号)。

2008 年 1 月に増資され現在自己資本金は 50 百万ドルで、自己資本額ではトップとなっているが、その株主構成は Acleda NGO 及び従業員持株会が 51%と過半を占め、他は IFC、KfW、オランダ開発金融公社 (FMO) といった国際機関及び先進国ドナー等が 49%を保有しているユニークな銀行である。なお、従業員数も地方支店が多いことから 5,341 名と銀行間では断然トップ。

Acleda 銀行の貸出は 310.6 百万ドル (07 年) で、その貸出先はいわゆる小口ものが多いが (1 件あたりの平均貸付額は 2158 ドル) 中小企業向けも漸次増加しており 07 年金額では全貸付額の 68.7%を占めるにいたっている。またこれを業種別に概観すると、Commerce58.6%、サービス業 25.5%、農業 11.2%、製造業 4.4%とサービス産業が中心になっている。

一方受信サイドでは小口の預金者が多いことと国際機関を始め先進諸国の各種機関からの借入れが多いことが特徴である。後述する国際機関等のドナーからの資金援助の受け入れについても積極的で、IFC、KfW、ADB のいずれからのローンについてもその受け入れ機関となっている。

そしてその収支については総じて良好で着実な業容の拡大が注目される。

4.4.3 ANZ Royal 銀行

ANZ Royal銀行は、カンボジア人企業家とオセアニアで第4の銀行グループであるANZ¹⁴ Banking Groupが2005年設立した合弁銀行である（当初資本金22百万ドル、07年40百万円に増資、出資比率はANZ55%、カンボジア45%）。カンボジア側創業者のNeak Oknha Kith Meng氏はオーストラリアで教育を受けてカンボジアに帰国後、携帯電話、ホテル、ディスコ経営などで財を成し、銀行設立をANZ銀行に持ちかけたことが始まりとされている。因みにその店舗数はプノンペンを中心として20店と、ATMが127台で、従業員数も376名と以下に述べる業績に比べると少ないと言えよう。

ANZ Royal銀行の特徴はその積極的な預金集めにある。親会社のANZ銀行の絶大なる信用力を背景に預金コーナーなどを設けるなど安全性と斬新さを訴え貯蓄性預金の吸収に努力するほか、官公庁職員の給料送金業務や、クレジットカード導入にも積極的に乗り出し成功を収めている。この結果創立の05年から07年の2年間に、預金量は75百万ドルから520百万ドルへと実に7倍に著増し、そのシェアはトップの21%となった。

一方、2年間における急テンポな業務拡大の結果、経費支出も大きく、その収益としては殆どトントンで、07年純利益は50万ドル50万ドルを計上したにすぎない。

4.4.4 農村地域開発銀行（Rural Development Bank: RDB、特殊銀行）

RDBは98年地方の農業開発のためにWholesale Bankとして政府の全額出資によって設立された。増資、政府借り入れ、国際機関（ADB等）・NGO（KOSAN）からの贈与及びローンの受け入れによって漸次資金量を増やし07年末総資産は735億リアルとなり、特殊銀行としては突出した一番手となっている。

貸出先としては主としてMFI、Credit Operator等の金融機関であるが、特定のプロジェクトによってはRice Mill AssociationやCommunity、また特定のSMEsに対しても直接融資を行っている。主なプロジェクトとしてはKompon ChamにおけるRubber Plantation（融資額1.2百万ドル）、タイ国境周辺週におけるメイズ増産プロジェクト（1.5百万ドル）、タケオ州におけるCommunity Water System（5万ドル）、西部タイ国境沿いの9州にまたがるRice Miller向けPaddy Rice Project等に貸し付けている。ここで注視すべきはRDBの融資及び審査能力であろう。その融資業務を詳しく見た場合、金融機関への融資は間接融資でありそのリスクは直接蒙らず、プロジェクトものの直接融資は、ドナーとの協力事業が中心でドナーの指導下での融資であることから自らの案件発掘・審査能力には懸念が残る。従って今回のTSLの参加銀行として選択した場合、相当の技術支援が必要と考えられる。

上述の通りRDBの資金源は市場から若干の受け入れ預金はあるものの政府及び外部機関からの援助資金によるものが多いことから、そのコストは総じて低い。因みに政府借

¹⁴ ANZ=Australia, New Zealand

り入れの金利は3%である。従ってその収益率は対総資産で8.7%、対貸出総額で9.6%と商業銀行の平均より相対的に高くなっている。最も特殊銀行全体で見ると2~5位の4行が低水準にあることに加え2行が大幅赤字であることから、全体としては赤字となっている。

4.5 マクロ・ファイナンス (Microfinance: MF) セクター

4.5.1 概況

カンボジアにおけるMFはもともとあったインフォーマルな金融組織をNGOの挺入れで発展してきたものであるが、ここ10年間の発展は顕著でカンボジア全家族数(2.7百万家族)の3割弱が利用しているといわれている。政府もMFの意義を認めその組織強化を図ると共に、NBCの管轄下におく所謂フォーマル化することに積極的に支援した結果、全国で約60あるとされているMF機関のうち、26を登録済みとし、更にその内17についてはNBCが認可済みとし、商業銀行、特別銀行と同様に監督している(図4-1)

Acleda銀行を除く17のMFIs全体の総資産の推移と対GDPの比較の上で表示すると表の通りとなる。総資産の全体としての伸び率は4年間平均で100%と高い水準にあるが、ここ2年の伸び率は3~4年前のそれに比べると低くなっているが、これは預金が商業銀行にシフトしたことによるものと思われる。

その業容は当初複数の個人をグループ化してそのグループに小額の新規貸付を行うものであるが、漸次有望個人に貸出を増やして成長する。MFIの大きな特徴は原則として担保を取らず、そのプロジェクトの成果をベースに貸し付けることである。それだけに借入人に密着して、その行動を観察し続けることが要求される(換言すればコストがかかる)。

一方その資金源についてはNGOの段階では外国NGO等からの資金で始められているが、MFIの段階では住民の預金も受け入れるようになる、むしろそれが奨励される。因みにNBCの認可は自己資本金、顧客数等の基準により行われ、その監督はPrudential Requirementの遵守を重視して行われる。NBCは今年にはいってMFIに1年ものの預金を認めることとし、基準を満たした業界1、2位のMFI s (Amret、CEB)が近くその業務を開始する予定の由(08年8月現在)。

17MFIsの総じての採算は貸出金利(昨年は月利3%、今年は2.5%に下がってきている由)の低下、Funding Costの上昇から相対的に低下傾向にあるものの、下位2~3の機関を除いてはおおむね総資産利益率は平均5.4%のレベルを維持している。

4.5.2 個別MFI: Amretの概況

Amretは91年頃のNGO GRETにより、Micro Credit 供与のためGRETとして設立された。当初グループ貸付(Solidarity Credit)からはじめられたが、その後個人貸付を始め各種の活動を開始した。また受信面でも自己資本の拡充を図ってきたが、99年からは商業銀行からの借入も実施するなど資金量の増大を図った。NBCから2001年MFIとして正式に認可され、その後2004年Amretと改称された。

Amret の総資産は 07 末 153.28 億リアルで前年比 66.1%の増加となった。その主要資金源は商業銀行等からの借入金で、07 年 109.2 億リアルで前年比 77.8%の増加で全資産の 71.4%を占めるにいたった。資本金も自己資金の 1.1 億リアル(MFI の最低資本金は 0.25 億)を始め内部留保を固め 29.1 億リアル(前年比 47.2%増)となっている。因みに Amret の総資産額は 17 MFIs のうち最大(シェアは 21.1%)となっている。

Amret の貸出は基本的に個人(企業)向けでその 1 件あたりの貸出額は 200 ドルと極めて小さい。因みにその内部規定によって 1 件当たりの最大貸付金額は 1 万ドルまでで、貸し出し期間は最大 2 年未満と短く、金利は最低月利 2.5%とされている。したがって MFI の中では最大規模の Amret としても、少なくとも当分の間は今回の TSL の PFI としての参加は難しいものと思われる。

4.6 ドナーの支援状況

Donor の中で SME 振興のための資金を現地金融機関向けに融資を行っているのは IFC と KfW である。このほか ADB が農業セクターに限定して零細企業向けに RDB 等 7 行に対し融資を行っている。以下これらの概略につき述べる。また IFC が 07 年において SMEs への貸付現状と資金需要につき調査を実施しているが、その概要についても付記する。

4.6.1 IFC による資金支援

IFC は 2004 年から Acleda 銀行向けに 2 回、Canadia 銀行向けに 1 件融資を実施している。

- Acleda 銀行向け第 1 回貸付(04 年 5 月調印)

設立間もない Acleda 銀行に対し、その MF を中心とする業務支援のために、株主として貸付を実施。金額は 6 百万ドルで、金利は年利 8.40~8.87%(国内調達金利に 1~2% 上乗せした水準)、期間は 4 年。このローンは順調に消化され 2 年間で貸出を終了している。因みに貸付先は零細企業及び個人で平均貸付金額は 400 ドルであった。

- Acleda 銀行向け第 2 次貸付(06 年 5 月 21 日調印)

本件も 1 次同様に Acleda 銀行の一般貸付資金に充当されるもので融資額 5 百万ドル、金利は年利 9%、期間は前期同様 4 年で最終返済時は 11 年 6 月の予定で現在貸し出し中。

- Canadia 銀行向融資(04 年 9 月 20 日調印)

本件は住宅ローン〔融資対象の受託を担保とみなす長期ローン〕の定着化を支援するための貸付で、融資額は 2.5 百万ドルで金利は市場預金金利に連動するとして 6 年では 6.67%~8.67%、07 年では 8.67%~9.36%となっている。これまでの住宅ローンはプノンペンのみ限定されていたが、これを地方にも普及させ、中間層の持ち家率を増加させることを目的としている。

4.6.2 ドイツ復興開発銀行（KfW）による資金支援

- 第1次中小企業振興長期ローン（SME Term Lending I）（03年4月23日調印）

SME セクター発展支援と金融システムの強化を目的に、Canadia 銀行と Acleda 銀行を通じ、SMEs に長期ローンを提供するもの。また両行にたいして融資手続き、審査方法につき TA を供与した。

資金は政府（MEF）が借入したうえで、実施銀行（Canadia 銀行 and Acleda 銀行）を通じて SMEs に市場レートで貸し付けるもの。融資金額は EUR 2.5 million（約4億円）が貸付資金に、EUR 0.5 million（約8千万円）が実施機関支援（TA）に充当された。

- 第2次中小企業振興長期ローン（SME Term lending II）（00年10月18日調印）

第1次ローンが好評であったので、2次ローンが引き続き実施された。融資金額は Canadia 銀行に EUR 1.59 million（約2億6千万円）、Acleda 銀行に EUR 3.0 million（約5億円）合計7億6千万円とほぼ倍増された。On-lending Loan の金利は年利06年4.34%～8.67%、07年5.01%～6.00%で、Sub-loan 金利は Canadia 銀行によると月利1%（年利12%）である。

4.6.3 ADB の農業セクター零細企業向け融資

ADB は2001年フォーマルセクター金融機関にアクセスできない地方の弱小 SMEs、特に農業セクターの SMEs 向けとして政府に約20百万ドルのソフトローン（金利1.0%、期間24年）の貸付を行なった。このローンは RDB に on-lend され、RDB から MFIs、商業銀行を通じて SMEs に貸付られるが、on-lending 金利は7～9%、MFIs からの Sub-loan 金利は約30%と非常に高くなっている。

このローンはマイクロファイナンスに限定したもので当初数年の間に農業セクターにおける精米、養豚、養鶏それに小売業等向けに合計約3.3百万ドルの貸付が行なわれたが、その平均貸付額は195ドルで、極小規模の貸付が多かった。本ローンはその後05年に RDB のモニタリング・評価プロセスが不十分であるとして業務が停止され、06年10月末貸付分15百万ドルが ADB に償還されたうえで、完了された。

4.6.4 SME への貸付現状と資金需要に関する IFC 調査

IFC は前述のように Acleda 銀行、Canadia 銀行を通じて SME 向けの融資を行ってきているが、その貸し出しが当初の予想に反してあまり伸びないことから、その事由について特別チームを編成して調査を行った¹⁵。それによるとその理由は次の3つに分類されるとしている。

カンボジアの一般情勢によるもの

- 法規制の未整備、特に既存の法では貸付者保護が不十分である

¹⁵ IFC (2007), Cambodia Financial Sector Diagnostic

貸手側の事情

- ・ 銀行担当者の SMEs 向長期ローンに対するリスク分析・管理能力が不十分である
- ・ 銀行自身の長期資本アクセスが困難である

借手側の事情

- ・ 銀行の最小貸出要件を満たしていない
- ・ 都市部の銀行へのアクセスが困難である
- ・ 申請手続きが煩雑である
- ・ 現行の高金利では長期資金を借りられない
- ・ より便利な Informal credit market にアクセスできる

第5章 TSL の必要性和提案される枠組み

本章においては今回の現地調査の結果を踏まえて、カンボジアにおいて TSL の必要性和その適当と考えられる TSL の枠組みについて述べる。またこの枠組みをスライドにしたもの（英文）を添付する。

5.1 TSL の必要性

カンボジアの経済は、今明らかに成長期の初期段階にある。成長を牽引しているのは公益事業を含む全てのセクターに勃興・発展してきている SMEs であるが、これら SMEs が直面する課題は設備投資のための投資資金である。一方金融サイドは、SMEs の資金需要を認めながらも、その資金源の欠如からこの資金需要に対して制限的な対応となっている。唯一供与されているのは、IFC、KfW からの TSL を原資とするものである。このような状況下、JICA の円借款が TSL 方式によって SMEs 振興のために供与される意義は大きい。

5.2 対象となる SME とその産業セクター

MIME の基準によると従業員数 50 人未満が小企業、50～100 人が中企業、100 人以上が大企業とされるのは前述の通りであるが、今回提案される TSL の対象としては大企業を除くと共に、零細企業を除いたものとするのが適当と思われる。それでも対象企業数は恐らく 1 万に近い数になると思われる。そして具体的に対象企業を限定する基準としては MIME の基準をベースに従業員数 100 人以下とするのが適当かと思われる。

また対象セクターとしては軍需産業、不動産業、その他の公序良俗に反する産業を除くとして広く門戸を開くのがいいかと思われる。因みに期待セクターとしては一般的な製造業特に農業関連工業、食品工業、建設資材製造業、機械製造修繕業、家具木工製品製造等に加え、地方の小規模な上水事業、電力事業が有力対象業種と考えられる。この外産業活動の活発化につれて運送業、倉庫業の発展も期待されるが、これらは MIME の管轄ではなく、観光省の管轄となっており、今回コンタクトはできなかったため次回の調査に託したい。

5.3 資金需要の動向

SMEs の資金需要については現地において関係諸官庁及び主要銀行から聴取し、その全体像について把握したところであるが、加えて Canadia 銀行及び RDB の紹介により、両行が既に長期資金を融資した企業 8 社を訪問し、その実情について聴取することが出来た。その結果、いずれの企業も更なる投資意欲がすこぶる旺盛でその資金需要が根強いものと感じられた。彼らのプロジェクトコストは一般に小さく（多くが 20 万ドル未満）、借入金もその 5～8 割となっているが、農業関連では大規模な設備投資需要も出てきているし（例えばメイズの乾燥機設備は 30～50 万ドル）、上水事業等においてはその規模によるが、500 世帯向けではやはり少なくとも 30 万ドルぐらいの借り入れ規模となっていた。

今回実査した 8 つの業種の資金需要については 2 章と 3 章において概算したが、精米所・レンガ製造等 6 業種の一般 SMEs が 12 億円、水 SMEs が 10 億円、電力 REEs が約 5 億円とされ、供与される TSL の中でも有力な融資先業種となるものと思われる。

因みに、政府は SME 振興に注力するところ支援する対象プロジェクトの最小投資額を決めており、それによると殆どが 50 万ドル以上とされており、わずかに皮革製品やセラミック製品等少数業種において 30 万ドルとされており、投資額の増大を図るよう指導しているものと思われる。

5.4 金融サイドの動向

カンボジアにおいては証券市場はなく、産業向けの資金供給は個人融資を除くと専ら銀行等金融機関から行われている。しかし銀行の預金吸収力は最近顕著に強化されたものの依然として低く供給余力は左程大きくない。特に長期資金については長期預金制度もなく、その融資は IFC、KfW からの借入金を原資としたものを除くと行われていない。

5.5 提案される TSL (含む TA) の概要

前述の事情を考慮して提案される TSL の概要につき以下に纏める。

5.5.1 TSL のスキーム

JICA とカンボジア政府間での貸付契約に基づき JICA からカ政府に対して円貨によって貸付が実行され、カ政府は同資金をドル貨或いはリアル貨に交換の上参加銀行に貸し付ける (On-lending Loan)。参加銀行は Eligible な SMEs に対してそのプロジェクト向けに Sub-loan を供与する。Sub-loan の返済金は参加銀行を通じて中央銀行の AC に戻入され、円借款の返済期日までは数回貸付金に回される (Revolving Use)。組織と融資プロセスについては図(添付 PPT スライド No.4) に提示する。

5.5.2 Sub-loan の対象プロジェクト、企業

対象業種としては軍事産業、不動産業、その他公序良俗に反する事業を除いては広く認めるのが適当である。但し、貸付金は 10 年以下の長期資金であり、設備投資等に当てられるべきものであることから、長期性資金を必要としない業種、例えば物品販売業には結果的に融資実績があがらないことが予想される。なお貸先企業・プロジェクトの選択はその信用リスクをとる PFIs によって行われるものと思慮される。

5.5.3 TSL 総額

JICA から供与される TSL 総額については近隣諸国向け同種ローン供与の実績(99 年ベトナム向け第 1 次 TSL40 億円、06 年モンゴル向け TSL29 億円)と同国での IFC、KfW の実績に鑑みるとともに、対象とするセクターが一般製造業の他に水、電力を含みより広いものとなっていることも加味して、3 年間の貸出期間を前提として 40 億円位と想定した。

5.5.4 参加金融銀行

現在カンボジアにおいては商業銀行 17 行、特殊銀行 7 行が存在するが、円借款の規模及び銀行の業務遂行能力の発展状況からみると 4~5 行の参加が適当かと思われる。その選考には安全性 (Prudential Requirement)、成長性に加え長期資金の貸付経験、法人向け貸付の経験が重視されよう。またカンボジア特有の問題として金融界には外国資本が多く参入して

いることが注目されるが、本件においては 17 行の内国内資本が入っている 7 行に限定した上で、更に絞っていくことが望ましいと思慮される。

5.5.5 1 件当りの Sub-loan の金額

最小 1 万ドルから最大 60 万ドルが適当と思われる。また複数の銀行が同じプロジェクトに対して融資することも認め、より大きなプロジェクトに対応することとする。

5.5.6 適用条件（期間、金利）

まず期間については Sub-loan の期間は 2～10 年（据え置き期間は返済期間と連動して 1/2～3 年）が適当で、On-lending loan はそれに Matching したものとす。一方円借款の期間は 40 年であることから、その元金は Revolving して数回貸し付けられることとなる。

金利の決定に関して最も重視すべきことは SME の金利支払能力の問題とマクロ的には市場金利との関係である。KfW は Sub-loan 金利を市場金利より低い年利 12% と設定しており、On lending loan 金利も Libor フラット程度の低い水準（4.5～5.0%）にしている（従って銀行マージンは 7.0～7.5% とも見込まれる）。一方、円借款の金利が 0.01% と実質的に 0% とされることから、想定される金利は Sub-loan、On lending loan に適用される金利は共に KfW に準じてそれぞれ年利 12%、Libor 金利（現行 5.0%）とする。

5.5.7 必要とされる TA

TSL の実施に際しては MEF/中央銀行、参加銀行、中小企業に対して幅広く TA を供与することが必要と思われる。必要な TA として想定される内容は以下の通り。

MEF/中央銀行向け TA

- SMEs セクターに対する金融支援政策と実施手法の策定

商業銀行・特殊銀行向け TA

- 候補プロジェクトの評価
- 候補プロジェクトの財務予測
- 候補プロジェクトの財務諸表作成
- 貸付条件の形成

SMEs 向け TA

- 事業計画の策定
- プロジェクト申請手法の修得

TA に係る詳細なデザインは、今後実施される調査（SAPROF）にゆだねることとする。

5.6 次のステップ

TSL の具体化のために各産業セクター（水、電力を含む）の資金需要の精査、金融情勢の調査及び参加銀行の選択に重点を置いた SAPROF の実施が望まれる。また同 SAPROF は上記の TA についてもその内容について詳細に検討することが期待される。

表A-1 Banks / Balance Sheet (1)-Assets (2007)

	(million of KHR)											
	Total Assets	Cash, Loans, Deposits with NBC and Banks				Loans and Advances to Customers				Prepaid Expenses	Fixed Assets	Other Assets
		Cash	Gold	Deposits with NBC	Due from Banks	Deposits with loans and advances to Banks	Loans and advances to state enterprises	Loans and advances to private sector	Accrued interest receivable			
Commercial Banks												
1 Cambodian Public Bank	2,260,384	49,679	-	475,158	45,700	180,457	-	1,442,224	3,612	23,672	24,303	15,579
2 Canadia Bank Plc.	2,242,342	120,193	523	275,375	323,695	4,365	1,177	1,334,079	4,991	23,021	130,882	24,041
3 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	2,241,988	96,456	-	264,533	202,664	1,030,803	-	575,581	105	7,591	55,329	8,925
4 Acleda Bank Plc.	1,899,200	193,989	-	289,969	70,326	15,681	-	1,248,409	13,890	7,892	55,843	3,202
5 Foreign Trade Bank of Cambodia	882,057	20,531	-	358,933	68,599	181,039	-	244,796	1,307	3,846	2,664	341
6 Cambodian Commercial Bank Ltd.	651,741	24,559	-	386,459	60,163	-	-	160,794	877	957	14,697	3236
7 May Bank Phnom Penh Branch*	579,078	8,705	-	325,876	35,554	80,961	-	127,455	32	741	367	(613)
8 Vattanac Bank Ltd.	525,085	24,519	-	107,884	24,339	14,181	-	328,215	420	1,080	24,311	136
9 Union Commercial Bank Plc.	484,253	114,779	-	50,098	20,150	17,930	-	264,210	1,232	1,583	11,363	2,908
10 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	286,990	3,966	28	214,894	-	-	-	65,978	95	42	1,888	100
11 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	248,674	20,311	-	156,538	21,155	2,021	-	28,988	381	2,497	15,044	1,738
12 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	239,441	16,931	-	72,871	55,080	16,017	-	76,194	325	1,512	49	463
13 Singapore Banking Corporation	195,825	40,677	-	22,304	9,942	17,010	-	77,990	427	6,785	17,154	3,535
14 Advanced Bank of Asia Ltd.	163,154	16,028	-	22,642	68,502	752	-	49,066	629	1,623	2,231	1,681
15 Shinhan Khmer Bank	146,180	5,701	-	12,466	24,853	88,591	-	8,568	22	-	5,760	219
16 Cambodia Asia Bank Ltd.	129,027	31,841	-	10,592	35,269	1,515	-	46,446	5	256	631	2,471
17 CAMKO Bank Ltd.	94,792	3,128	-	26,329	44,041	-	-	15,922	41	389	4,846	96
Sub-total	13,270,211	791,993	551	3,072,921	1,110,032	1,651,323	1,177	6,094,915	28,391	83,487	367,362	68,058
Specialized Banks												
18 Rural Development Bank	73,534	1,877	-	17,394	311	14,438	-	36,698	792	16	2,007	0
19 First Investment Specialized Bank	28,623	855	-	2,207	155	-	-	25,080	94	28	204	-
20 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	20,503	746	-	1,523	7	-	-	17,786	78	37	326	-
21 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	18,771	247	-	1,013	-	9,014	-	3,066	89	-	5,344	-
22 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	12,788	1,220	-	633	-	6	-	8,579	41	8	2,300	-
23 Anco Specialized Bank	10,688	3,704	-	667	-	5	-	6,268	21	-	23	-
24 Cambodia Development Specialized Bank	9,986	70	-	810	-	7,822	-	120	6	25	933	201
Sub-total	174,893	8,719	-	24,247	473	31,285	-	97,597	1,121	114	11,137	201
Total	13,445,104	800,712		3,097,168	1,110,505	1,682,608	1,177	6,192,512	29,512	83,601	378,499	68,259

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-2 Banks / Balance Sheet (2)-Liability & Equity (2007)

(million of KHR)

	Total liabilities and equity	Owed to NBC	Owed to banks	Borrowed funds	Customer's deposit				Other liabilities	Shareholder's equity					
					Demand deposits	Saving deposits	Fixed deposits	Other deposits		Paid up capital	Reserves	Subordinated			
												loans (after NBC's agreement)	General provision & other	Retained & current profit/loss	
Commercial Banks															
1	Cambodian Public Bank	2,260,384	0	632,387	0	450,404	403,459	368,672	17,691	34,067	180,135	0	0	0	173,569
2	Canadia Bank Plc.	2,242,342	0	26,978	17,812	122,986	1,024,645	661,099	21,096	24,727	162,302	0	28,341	0	152,358
3	ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	2,241,988	0	593	0	564,246	969,890	559,074	2,780	21,122	160,120	0	0	0	(25,837)
4	Aclea Bank Plc.	1,899,200	40,000	19,083	155,704	194,928	723,669	440,298	18,751	52,637	120,090	0	53,004	39,684	41,352
5	Foreign Trade Bank of Cambodia	882,057	0	17,565	0	198,928	274,999	247,242	18,044	3,465	52,039	12,295	0	4,764	52,713
6	Cambodian Commercial Bank Ltd.	651,741	0	256	0	68,611	417,502	56,714	1,813	143	52,039	0	0	0	54,663
7	May Bank Phnom Penh Branch*	579,078	0	9,243	0	301,852	76,778	79,715	592	3,785	53,640	0	0	0	53,473
8	Vattanac Bank Ltd.	525,085	0	58	0	105,057	128,710	177,204	4,515	7,555	52,039	0	0	0	49,946
9	Union Commercial Bank Plc.	484,253	0	1,301	0	96,305	169,126	109,728	9,023	5,323	56,642	0	0	0	36,805
10	Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	286,990	0	81,637	0	12,726	103,460	6,812	23	1,678	52,039	700	0	0	27,915
11	Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	248,674	0	2,642	0	110,178	30,789	0	3,834	796	140,105	0	0	0	(39,671)
12	First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	269,441	0	2,248	0	22,125	129,397	801	2,013	269	52,039	0	0	0	30,548
13	Singapore Banking Corporation	195,825	0	5	0	37,557	74,543	18,701	1,363	11,159	52,039	0	16,012	0	(15,553)
14	Advanced Bank of Asia Ltd.	163,154	0	0	0	9,267	65,471	10,815	3,381	2,184	72,054	0	0	0	(18)
15	Shinhan Khmer Bank	146,180	0	7,853	0	29,880	34,629	23,986	32	1,479	52,039	0	0	0	(3,718)
16	Cambodia Asia Bank Ltd.	129,027	0	0	0	28,780	26,224	12,369	275	5,001	52,039	0	0	0	4,339
17	CAMKO Bank Ltd.	94,792	0	6,278	0	20,331	6,248	12,364	3,372	197	52,039	0	0	0	(6,038)
	Sub-total	13,300,211	40,000	808,127	173,516	2,374,161	4,659,539	2,785,594	108,598	175,587	1,413,439	12,995	97,357	44,448	586,846
Specialized Banks															
18	Rural Development Bank	73,534	-	28	30,143	1,369	908	1,132	37	267	27,871	-	8,356	-	3,423
19	First Investment Specialized Bank	28,623	-	-	364	-	-	-	-	433	15,211	-	10,320	-	2,296
20	Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	20,503	-	1,444	-	1,131	-	-	-	629	14,011	-	-	-	3,288
21	Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	18,771	-	-	1,712	-	-	-	-	-	20,015	-	-	-	(2,956)
22	Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	12,788	-	-	-	-	-	-	-	29	12,009	-	-	60	690
23	Anco Specialized Bank	10,688	-	-	-	-	-	-	-	28	10,408	-	-	-	253
24	Cambodia Development Specialized Bank	9,986	-	-	-	-	-	-	-	40	12,009	-	-	-	(2,063)
	Sub-total	174,893	0	1,472	32,219	2,500	908	1,132	37	1,426	111,534	0	18,676	60	4,931
Total	13,475,104	40,000	809,599	205,735	2,376,661	4,660,447	2,786,726	108,635	177,013	1,524,973	12,995	116,033	44,508	591,777	

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-3 Banks / Comparative Profit & Loss Statement (2007)

(million of KHR)

	Interest income	Interest expense	Net interest income	Non interest income	GDP (Gross operating income or loss)	Operating expenses (Excluding depreciation)	Provision expenses		Recoveries	P & L Before Tax	Profit Tax	Extra gains or losses prior year adjustment G/Reserves	Net profit & loss for 12 months
	1	2	3=1-2	4	5=3+4	6	Depreciation	Bad debts & Doubtful	9	10=5-6-7-8+9	11	12	13=10-11+/-12
Commercial Banks													
1 Canadia Bank Plc.	145,768	37,499	108,269	27,120	135,389	26,582	1,984	67,140	62,574	102,257		(2)	102,255
2 Cambodian Public Bank	102,176	21,849	80,327	33,557	113,884	17,075	1,658		1,089	96,240	19,494		76,746
3 Acleda Bank Plc.	213,753	46,006	167,747	26,693	194,440	130,848	7,209	5,846	1,261	51,798	10,338	(109)	41,351
4 Foreign Trade Bank of Cambodia	44,328	13,670	30,658	10,876	41,534	8,271	314	25,078	30,555	38,426			38,426
5 Cambodian Commercial Bank Ltd.	26,047	3,400	22,647	8,847	31,494	6,675	1,468		6,770	30,121	6,024		24,097
6 Vattanac Bank Ltd.	35,346	8,184	27,162	10,285	37,447	8,061	1,085			28,301	5,684	128	22,745
7 Union Commercial Bank Plc.	25418	8,906	16,512	20,220	36,732	15,210	993	657	1,043	20,915	58		20,857
8 May Bank Phnom Penh Branch*	18,151	2,359	15,792	5,891	21,683	4,726	242		320	17,035			17,035
9 Singapore Banking Corporation	11,094	1,513	9,581	6,583	16,164	10,608	1,049	24	8,409	12,892			12,892
10 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	10,502	430	10,072	4,391	14,463	2,852	79			11,532			11,532
11 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	9,615	982	8,633	2,522	11,155	2,326	119		254	8,964	2,454	55	6,565
12 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	3,300	727	2,573	414	2,987	8,172	2,522	31		(7,738)	211	12839	4,890
13 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	66,605	22,712	43,893	23,087	66,980	56,058	3,169	3,758		3,995	1,831		2,164
14 Cambodia Asia Bank Ltd.	3,068	1,278	1,790	7,925	9,715	5,950	850	1,502	650	2,063	116		1,947
15 Advanced Bank of Asia Ltd.	9,133	1,307	7,826	2,604	10,430	7,033	969	1,726		702	(684)	(835)	551
16 Shinhan Khmer Bank	932	226	706	199	905	2,629	1,993			(3,717)			(3,717)
17 CAMKO Bank Ltd.	1,205	474	731	119	850	5,762	1,110			(6,022)	14	(1)	(6,037)
Sub-total	726,441	171,522	554,919	191,333	746,252	318,838	26,813	105,762	112,925	407,764	45,540	12,075	374,299
Specialized Banks													
18 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	2,289	37	2,252	246	2,498	1,468	330	113	1,193	1,780			1,780
19 First Investment Specialized Bank	2,959	0	2,959	411	3,370	1,062	138			2,170	401		1,769
20 Rural Development Bank	4,173	925	3,248	595	3,843	2,409	230	54	191	1,341	48	(148)	1,145
21 Anco Specialized Bank	601	3	598	22	620	295	101			224	8		216
22 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	1,501	13	1,488	(6)	1,482	1,732	122	7	29	(350)	16		(366)
23 Cambodia Development Specialized Bank	120	0	120	26	146	2,151	58			(2,063)			(2,063)
24 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	96	0	96		96	2,844	208			(2,956)			(2,956)
Sub-total	11,739	978	10,761	1,294	12,055	11,961	1,187	174	1,413	146	473	(148)	(475)
Total	738,180	172,500	565,680	192,627	758,307	330,799	28,000	105,936	114,338	407,910	46,013	11,927	373,824

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-4 Banks / Comparative and its Ratio (2007)

	(million of KHR)				
	Net profit	Total assets	As percentage of assets (%)	Loans*	As percentage of loans (%)
Commercial Banks					
1 Canadia Bank Plc.	102,255	2,242,342	4.6	1,391,814	7.3
2 Cambodian Public Bank	76,746	2,260,384	3.4	1,453,101	5.3
3 Aceda Bank Plc.	41,351	1,899,200	2.2	1,275,143	3.2
4 Foreign Trade Bank of Cambodia	38,426	882,057	4.4	263,941	14.6
5 Cambodian Commercial Bank Ltd.	24,097	651,741	3.7	163,285	14.8
6 Vattanac Bank Ltd.	22,745	525,085	4.3	328,635	6.9
7 Union Commercial Bank Plc.	20,857	484,253	4.3	266,474	7.8
8 May Bank Phnom Penh Branch*	17,035	579,078	2.9	131,640	12.9
9 Singapore Banking Corporation	12,892	195,825	6.6	81,586	15.8
10 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	11,532	239,441	4.8	76,919	15.0
11 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	6,565	286,990	2.3	66,783	9.8
12 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	4,890	248,674	2.0	29,501	16.6
13 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	2,164	2,241,988	0.1	580,470	0.4
14 Cambodia Asia Bank Ltd.	1,947	129,027	1.5	48,915	4.0
15 Advanced Bank of Asia Ltd.	551	163,154	0.3	51,115	1.1
16 Shinhan Khmer Bank	(3,717)	146,180	(2.5)	8,591	(43.3)
17 CAMKO Bank Ltd.	(6,037)	94,792	(6.4)	15,963	(37.8)
Sub-total	374,299	13,270,211	2.8	6,233,876	6.0
Specialized Banks					
18 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	1,780	20,503	8.7	18,621	9.6
19 First Investment Specialized Bank	1,769	28,623	6.2	25,174	7.0
20 Rural Development Bank	1,145	73,534	1.6	38,795	3.0
21 Anco Specialized Bank	216	10,688	2.0	6,289	3.4
22 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	(366)	12,788	(2.9)	8,667	(4.2)
23 Cambodia Development Specialized Bank	(2,063)	9,986	(20.7)	126	(1637.3)
24 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	(2,956)	18,771	(15.7)	3,155	(93.7)
Sub-total	(475)	174,893	(0.3)	100,827	(0.5)
Total	373,824	13,445,104	2.8	6,334,703	5.9

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Gross Loans (excluding loans to state enterprise and loans to government)

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-5 Banks / Comparison of Total Deposits (2005-07)

	(million of KHR)								
	2007		2006		2005		Growth Rate (%)		
	Share(%)	Share(%)	Share(%)	Share(%)	Share(%)	Share 2007 over 2006	2006 over 2005		
Commercial Banks									
1 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	2,085,989	21.0	755,564	13.3	307,082	7.8	276.1	246.0	
2 Canadia Bank Plc.	1,829,825	18.4	1,200,973	21.1	976,498	24.9	152.4	123.0	
3 Aceda Bank Plc.	1,377,646	13.9	497,248	8.7	255,902	6.5	277.1	194.3	
4 Cambodian Public Bank	1,240,226	12.5	781,956	13.7	514,151	13.1	158.6	152.1	
5 Foreign Trade Bank of Cambodia	739,216	7.4	789,569	13.9	587,918	15.0	93.6	134.3	
6 Cambodian Commercial Bank Ltd.	544,640	5.5	421,838	7.4	377,713	9.6	129.1	111.7	
7 May Bank Phnom Penh Branch*	458,937	4.6	235,248	4.1	178,466	4.5	195.1	131.8	
8 Vattanac Bank Ltd.	415,487	4.2	202,274	3.6	150,977	3.8	205.4	134.0	
9 Union Commercial Bank Plc.	384,182	3.9	339,788	6.0	277,751	7.1	113.1	122.3	
10 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	154,336	1.6	134,248	2.4	89,995	2.3	115.0	149.2	
11 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	144,801	1.5	56,330	1.0	33,258	0.8	257.1	169.4	
12 Singapore Banking Corporation	132,163	1.3	87,598	1.5	68,326	1.7	150.9	128.2	
13 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	123,021	1.2	90,658	1.6	54,196	1.4	135.7	167.3	
14 Advanced Bank of Asia Ltd.	88,934	0.9	57,897	1.0	39,743	1.0	153.6	145.7	
15 Shinhan Khmer Bank	88,527	0.9		0.0		0.0			
16 Cambodia Asia Bank Ltd.	67,647	0.7	32,260	0.6	12,837	0.3	209.7	251.3	
17 CAMKO Bank Ltd.	42,316	0.4		0.0		0.0			
Sub-total	9,917,893	100.0	5,683,449	99.9	3,924,813	99.9	174.5	144.8	
Specialized Banks									
18 Rural Development Bank	3,446	0.0	2,656	0.0	1,927	0	129.7	137.8	
19 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	1,131	0.0	594	0.0	257	0	190.4	231.1	
20 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank			335	0.0	225	0	0.0	148.9	
21 First Investment Specialized Bank									
22 Anco Specialized Bank									
23 Cambodia Development Specialized Bank									
24 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.									
Sub-total	4,577	0.0	3,585	0.1	2,409	0.0	127.7	148.8	
Total	9,922,470	100	5,687,034	100	3,927,222	100	174.5	144.8	

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Gross Loans (excluding loans to state enterprise and loans to government)

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-6 Banks / Total Deposits Classified by Customer Type (2007)

(million of KHR)

	Total		State			Bank	Other local	Business	Non-profit	Bank	Non-	Others	
	Deposits	Government	Enterprise	Municipality	incorporated	financial	Enterprise	Individuals		Organization	incorporated		resident
					in Cambodia	institutions				abroad			
Commercial Banks													
1 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	2,085,989	1,252	22					994,890	627,810	40,439		79,755	341,822
2 Canadia Bank Plc.	1,856,803	17,601	71,617			26,295	683	676,077	1,002,800	22,949		17,834	20,947
3 Acedia Bank Plc.	1,384,680	42,219	6,286	411	7,034			154,730	1,031,631	14,126		127,670	573
4 Cambodian Public Bank	1,240,226							345,989	841,136	40,593		12,508	
5 Foreign Trade Bank of Cambodia	756,781	123,575	47,449	120	17,565			202,562	342,651			8,297	14,562
6 Cambodian Commercial Bank Ltd.	544,640	3,011						300,515	199,921	30,267		10,926	
7 May Bank Phnom Penh Branch*	468,180					155		342,811	107,737		9,088	8,389	
8 Vattanac Bank Ltd.	415,545		28,621			58		79,406	299,398	8,003		59	
9 Union Commercial Bank Plc.	358,483					1,301			379,787			4,395	
10 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	156,585							51,901	102,435		2,248		
11 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	147,444					2,642		106,571	36,735				1,495
12 Singapore Banking Corporation	132,168					5		25,178	91,371			15,614	
13 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	123,021							88,170	34,841				
14 Advanced Bank of Asia Ltd.	96,380	1,692	169			7,205		64,576	18,431	76	648	3,189	395
15 Shinhan Khmer Bank	88,934							32,198	28,327			25,263	3,146
16 Cambodia Asia Bank Ltd.	67,647							10,194	57,454				
17 CAMKO Bank Ltd.	42,316							37,443	4,816			57	
Sub-total	9,965,822	189,350	154,164	531	62,260	683	3,513,211	5,207,281	156,453	11,984	313,956	382,940	
Specialized Banks													
18 Rural Development Bank	3,446						28		1,688				1,758
19 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	1,131	3						137	991				
20 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	0												
21 First Investment Specialized Bank	0												
22 Anco Specialized Bank	0												
23 Cambodia Development Specialized Bank	0												
24 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	0												
Sub-total	4,577	3	0	0	0	28	137	2,679	0	0	0	0	1,758
Total	9,970,399	189,353	154,164	531	62,260	711	3,513,348	5,209,960	156,453	11,984	313,956	384,698	
As Percentage of Total Deposits	100.00%	1.90%	1.55%	0.01%	0.62%	0.01%	35.24%	52.25%	1.57%	0.12%	3.15%	3.86%	

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-7 Banks / Loans and Non-Performing Loans (NPLs) (2006-07)

(million of KHR)

	Dec-2007			Dec-2006		
	Loans [*]	NPLs	NPL/Loans (%)	Loans [*]	NPLs	NPL/Loans (%)
Commercial Banks						
1 Cambodian Public Bank	1,453,101		0.0	642,324		0.0
2 Canadia Bank Plc.	1,391,814	95246	6.8	891,305	211,955	23.8
3 Acleda Bank Plc.	1,275,143	839	0.1	651,127	657	0.1
4 ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	580,470	2332	0.4	210,994		0.0
5 Vattanac Bank Ltd.	328,635		0.0	166,481		0.0
6 Union Commercial Bank Plc.	266,474	6415	2.4	204,529	19,039	9.3
7 Foreign Trade Bank of Cambodia	263,941	81061	30.7	204,188	43,500	21.3
8 Cambodian Commercial Bank Ltd.	163,285		0.0	117,410	11,499	9.8
9 May Bank Phnom Penh Branch*	131,640	4153	3.2	88,272	4,209	4.8
10 Singapore Banking Corporation	81,586	10022	12.3	63,504	43,166	68.0
11 First Commercial Bank, Phnom Penh Branch*	76,919	436	0.6	48,439	509	1.1
12 Krung Thai Bank Public Co. Ltd., P.P. Branch*	66,783		0.0	99,772		0.0
13 Advanced Bank of Asia Ltd.	51,115	13270	26.0	56,063		0.0
14 Cambodia Asia Bank Ltd.	48,915	2606	5.3	46,400		0.0
15 Cambodia Mekong Bank Public Ltd.	29,501	191	0.6	11,376		0.0
16 CAMKO Bank Ltd.	15,963		0.0			
17 Shinhan Khmer Bank	8,590		0.0			
Sub-total	6,233,875	216,571	3.5	3,502,184	334,534	9.6
Specialized Banks						
18 Rural Development Bank	38,795	626	1.6	29,037	920	3.2
19 First Investment Specialized Bank	25,174		0.0	19,340		0.0
20 Specialized Bank Peng Heng S.M.E. Ltd.	18,621	768	4.1	15,204	4,001	26.3
21 Cambodia Agriculture Industrial Specialized Bank	8,667	47	0.5	10,022	69	0.7
22 Anco Specialized Bank	6,289		0.0	3,658		0.0
23 Prosperity Investment Specialized Bank Plc.	3,155		0.0			
24 Cambodia Development Specialized Bank	126		0.0			
Sub-total	100,827	1,441	1.4	77,261	4,990	6.5
Total	6,334,702	218,012	3.4	3,579,445	339,524	9.5

Source: National Bank of Cambodia, Annual Report 2007

* Foreign Branches

Note: All figures are unaudited and as reported by banks

表A-8 MFIs / Profit and Loss Statement (2007)

(million of KHR)

	Interest income	Net interest income	Operation Income	General Administrative Expense	Profit from Operation	Profit Before Taxes	Net profit & loss for 12 months
Microfinance Institutions							
1 AMRET	38,700	28,656	28,996	17,432	11,258	11,292	9,034
2 PRASAC	35,228	29,756	30,088	19,086	9,337	9,636	7,708
3 Cambodia Enterprenur Building	19,326	13,125	14,877	8,307	5,921	5,921	4,717
4 Thaneakea Phum Cambodia	14,507	11,251	10,734	6,060	4,531	4,639	3,701
5 Angkor Microherhvatho Kampuchea	11,033	10,532	11,817	7,600	3,937	3,937	3,295
6 Hattakaksekar	11,599	9,025	9,091	5,127	3,658	3,929	3,065
7 CREDIT	8,789	6,914	7,369	4,855	1,899	2,742	2,742
8 Vision Fund Cambodia	11,679	9,768	10,155	7,159	2,890	3,410	2,706
9 Intean Poalroath Rongroeueng	2,612	2,101	2,300	995	1,274	1,274	1,099
10 CHC	2,117	1,689	1,713	1,168	551	610	465
11 Famer Union Development Fund	607	438	411	154	257	257	257
12 SEILANITHIH	3,848	3,155	3,114	2,745	250	273	231
13 Cambodian Business Integrate in Rural Development	1,348	982	1,036	834	162	197	180
14 MAXIMA	905	727	754	588	141	141	131
15 Entean Akpevath Pracheachun	672	572	667	520	127	127	99
16 Tong Fang Microfinance	89	89	75	178	(106)	(106)	(109)
17 Pisit Akphiwat Sethakech	31	15	15	27	(12)	(263)	(263)
TOTAL	163,090	128,795	133,212			48,016	39,058

Note: All figures are unaudited and as reported by MFIs

**Outline of Proposed Two-Step Loan (TSL)
To be extended to
the Government of Cambodia (GOC)
By Japan International Cooperation Agency(JICA)**

**October 2008
KRI International Corp.**

TABLE OF CONTENTS

1. Background
2. What is TSL?
3. Objectives of TSL
4. Structure of TSL
5. Outline of JICA ODA Loan
6. Outline of On-lending Loans
7. Outline of Sub-loans
8. Eligibility and Selection Criteria of Participating Financial Institutions (PFIs)
9. Eligibility of Sub-loan Project
10. Preferred Sub-loan Projects in Water Sector
11. Lending / Repayment and Revolving scheme of TSL

1. BACKGROUND

1. SMEs in Cambodia are under-developed
2. SMEs are playing important roles for Cambodia economic development
3. Government of Cambodia puts its priority on the growth of SMEs
4. SMEs feel their most crucial handicap is lack of access to long-term financial source
5. Government of Japan intends to support Cambodian SMEs through ODA loans

SMEs = Small Medium Enterprises
ODA = Official Development Assistance

2. WHAT IS TSL?

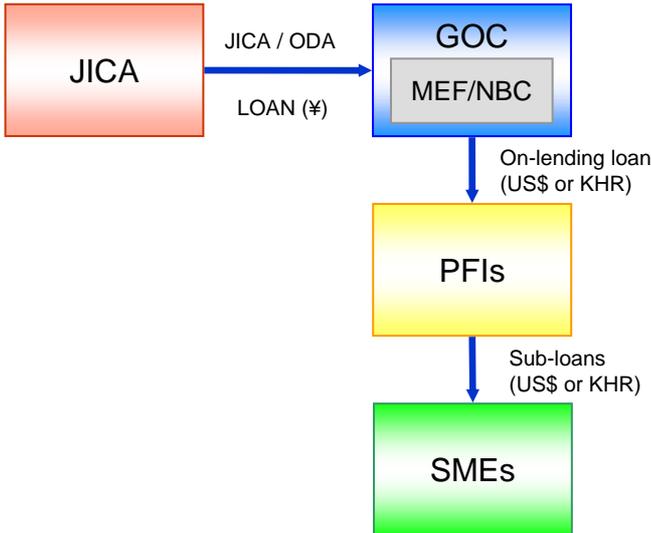
1. It is a financial facility with concessional conditions (long-term, low interest rate)
2. Its source is Japan ODA loan which is extended by JICA to Cambodia Government
3. ODA loan will be extended through PFIs to SMEs
4. Its end borrowers are SMEs in Cambodia
5. Repaid fund from SME will be re-lended to other SME projects (Revolving)

PFIs = Participating Financial Institutions

3. OBJECTIVES OF TSL

- 1. To promote development of SMEs by providing long-term loans
- 2. To promote development of PPP water supply system in provincial towns by providing long-term loans
- 3. To promote development of financial system by making available with long-term finance sources

4. STRUCTURE OF TSL



5. OUTLINE OF JICA ODA LOAN

1. Lender	JICA
2. Borrower	Government of Cambodia (MEF / NBC)
3. Amount	40 million USD
4. Use of loan	(1) For promotion of general SMEs (2) For promotion of water SMEs
5. Terms of Conditions	
Term	40 years (incl. grace 10 years)
Interest Rate	0.01% pa.
Interest Payment	Semi-annual
Service Charge	0.1% of amount disbursed
6. Disbursement	4 year by 10 installments

6. OUTLINE OF ON-LENDING LOANS

1. Lender	MEF / NBC
2. Borrower	PFI (3 - 4 PFIs to be selected)
3. Amount	Same amount to correspond to its sub-loans
4. Currency	US Dollars or KHR
Terms of Conditions	
Term	1-10 years (incl. grace 1/2-3 years)
Interest Rate	US Dollars : Libor + 0% KHR : Averaged interest of saving deposit of top 5 banks (6 months) (No grace for interest payment)
6. Disbursement	To match sub-loan

7. OUTLINE OF SUB-LOANS

1. Lender	PFIs
2. Borrower	SMEs (1) SME (under Cambodian law and concept ex. no. of employees 100 or less) (2) Established and operating in Cambodia (3) Majority privately owned (4) Creditability will be examined by PFIs
3. Currency	US Dollars or KHR
4. Amount	Max. loan size: US\$600,000 or equivalent Min. loan size : UD\$10,000 or equivalent
5. Terms of Conditions	
Terms	1-10 years (grace 1/2-3 years)
Interest Rate	12%
Interest Payment	Semi-annual
6. Security	All loans to be secured

8. ELIGIBILITY AND SELECTION CRITERIA OF PFIs

1. Eligibility

- Majority of shares owned by Cambodian

2. Selection Criteria

- Growth
- Prudential ratios
- Experience of Corporate Finance

3. Preference

- Experience of term loan

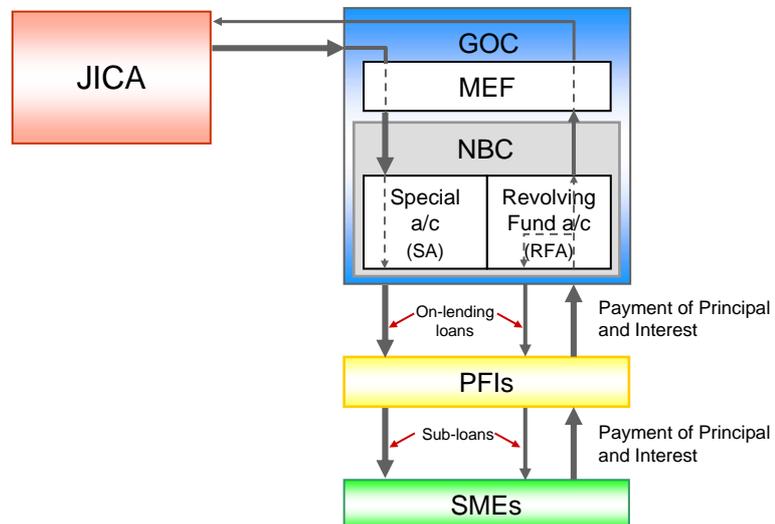
9. ELIGIBILITY OF SUB-LOAN PROJECTS

1. Corporate loan
2. Long-term loan
3. Capital investment loan
4. No refinancing or takeover loans
5. No military loans
6. No consumer loans
7. No real estate or housing loans
8. No loan for projects contradict to public moral

10. PREFERRED SUB-LOAN PROJECTS IN WATER SECTOR

1. GOC encourages SME to invest in provincial water sector
2. Application of licensed Water SMEs could be preferably accepted
3. Allocated amount could be set up
4. Terms and Conditions could be softer than to general SMEs
5. Loan procedure is the same as general SMEs

11. LENDING / REPAYMENT AND REVOLVING SCHEME OF TSL



12. NEXT STEPS TO BE TAKEN

1. Financial demand of SMEs in various sectors could be surveyed in details
2. PFIs should be carefully selected after reviewing of their performance / experience